

浮田和民関係資料目録

同志社大学人文科学研究所

2017年3月





浮田和民肖像
(浮田克躬作、早稲田大学會津八一記念博物館所蔵)

This is to Certify, that Mr. J. Kagutami
 Wukita of Kumamoto (Kumamoto, Ken Japan,
 entered Kumamoto English School at the
 beginning of the Academic Year September 2nd
 1872; that he has been prompt and constant
 in Attendance; most commendable in dis-
 position; diligent and successful in application
 to all the Studies of the Course throughout
 the entire term of four years; that he has
 creditably passed every annual and Semi-
 annual Examination, and that he is En-
 titled to this Certificate of Proficiency in
 the various branches of Study embraced in
 the Course of Kumamoto English School, Namely;
 1 Elements of the English Language, embracing
 Orthography, Reading, Writing, Grammar,
 Composition, Declamation, and Rhetoric.
 2 Intellectual and Written Arithmetic.
 3 Geography. 4 General History. 5 Algebra
 6 Trigonometry and Trigonometry. 7 Natural
 Philosophy. 8 Chemistry. 9 Botany. 10 Geology.
 11. Physiology, and also the Additional
 Course of Ancient and Medieval History
 and History of England and the United States.
 2 Theory and Practice of Surgery.

Given at Kumamoto Japan
 August 12th 1876.

L. L. James,

『浮田和民関係資料目録』解説

同志社大学名誉教授

西田 毅

「同志社系早稲田人」浮田和民

浮田和民（1859・12・28－1946・10・28）は同志社創立直後の明治九年九月に同志社英学校に入学し、明治十二年第一期生として卒業、その後約十年間、母校の教員として西洋史、文明史、政治学などを教えた。彼は新島襄の信任も厚く、一度は師の衣鉢を継がんとしたが、アメリカン・ボードと同志社の分離独立問題をめぐる学内の紛糾が原因で、明治三十年、小崎弘道とともに辞職し、東京専門学校（現在の早稲田大学）に移った。ここに、早稲田大学の政治学、歴史学教授としての後半生が始まる。

浮田はまた、敬虔なキリスト者でもあった。彼は明治四年、熊本洋学校に入学、L.L.ジェーンズの薫陶を受け、明治九年一月、花岡山の「奉教趣意書」に署名して「熊本バンド」の一員になった。浮田は科学的実証性と道義的、倫理的厳しさを特徴とする学問的姿勢を堅持した学究であるが、明治四十二年、総合雑誌『太陽』の主幹に就任して、後に『倫理的帝国主義』に収録される数々の名文章が『太陽』に発表され、浮田はオピニオンリーダーとしての名声を獲得した。主筆当時の彼は殆んど毎号、『太陽』の巻頭に自由主義、民主主義に立脚した政治評論や文化、教育論を発表した。たとえば、大逆事件や南北朝正閏問題に関して堂々と自説を発表し、政府の思想統制に対して反対の論陣を張った。有名な天皇機関説論争に際しては、それを「無用なる憲法論」と断じて、上杉慎吉の美濃部に対する非難の態度は、自説を絶対の真理となし、相手を異端邪説ときめつける非学究的態度であると厳しく批判するなど、真理のためには何ものをも怖れない毅然とした学者的良心を発揮した。日露戦争時には俘虜留学論を書いて、軍首脳^{かろ}の激しい怒りを買ったこともある。坪内逍遙はこうした浮田の学識と器量を称して「早稲田の至宝」と称した。

かつて、浮田は早稲田で「同志社系早稲田人」（桑木巖翼）という異名をとったこともあるが、同志社と早稲田の架け橋的役割を演じた人物として、同志社人のあいだでもそうした評価があったことは事実である。すなわち、明治三十年に同志社を去った後も同志社の社員（現在の理事にあたる）としての待遇をうけ、定期的に同志社で講演を行っていたこと、評議員や同志社校友会の幹事として同志社の大学昇格運動に関わるなど、母校の発展に何くれとなく協力を惜しまなかったのである。そうした因縁もあってか、大正九年に同志社が大学令による大学昇格を果たしたとき、総長選考にあたって安部磯雄とともに、彼は有力な候補者に挙げられた。その時に浮田が固辞した理由ははっきりしないが、やむなく海老名弾正が第八代総長に就任したことは周知の事実である。浮田は昭和十六年五月に八十三歳で早稲田大学を退職した。その在職期間は四十四年の長きに及んだ。大隈の信任も厚く、初代の図書館長など学内の要職を歴任し、明治四十一年には文明協会の編集長に就任している。

このように早稲田を主たる活躍の舞台とした浮田であるから、その詳細な年譜や著作目録が没後に早稲田の関係者によって作成されたのは不思議ではない。また、早稲田大学史編集所には浮田の旧蔵図書・関係史料が所蔵されている。とにかく、浮田和民研究の基礎資料の整備という点で、同志社は母校であるにもかかわらず、早稲田にはるかに及ばない現状にある。昭和十七年七月、十一月の近藤賢二書簡や昭和十八年二月の牧野虎次の書簡からうかがえるように、浮田所蔵の書籍の一部が同志社に寄贈された形跡が残っている。現在、同志社大学図書館でどのように保存と活用がなされているのであろうか。寡聞にして「所蔵目録」の類の存在を知らない。大学図書館に問い合わせたところ、現在「浮田文庫」という検索項目は存在するが、旧蔵書は一般蔵書に混じって保存されているらしい。

本目録が作成された由縁

そこで本学に、当該関係資料が寄贈されることになった経緯について簡単に述べておきたい。浮田和民の令孫にあたる浮田克躬^{かつみ}画伯（1930－1989）の夫人浮田和枝氏にお会いしたのは、かれこれ、二十年前のことであった。当時、早稲田大学の大学史編集所に勤務しておられた佐藤能丸氏（日本近代史専攻）からご連絡をいただいたのが、何でも物事の始まりであったように思う。佐藤氏にご同行を願って東京阿佐ヶ谷の浮田邸を訪問し、和枝夫人を紹介していただいた。和枝夫人のお話によれば、所蔵されている文書には書簡（来簡）が多く、そこには「熊本バンド」のメンバーを始め、同志社時代からの友人のものが多くあること、資料類もジェーンズの署名入りの熊本洋学校の卒業証書や同志社卒業演説、イェール大学留学時の日記、そしていつめ（五女、逸女）夫人の和民宛書簡が多数あること、書簡は昭和初期のものが多く、徳富蘇峰や小崎弘道、海老名弾正、下村孝太郎、村井知至ら同志社関係者が多いことから寄託先も早稲田より同志社の方がふさわしいのではないかというお考えを示された。浮田家から頂戴した分量は、全部で、段ボール箱三箱程度であったろうか。お礼の意味をかねて、当時の同志社総長松山義則先生にお願いして、和枝夫人と御嬢さんを東京のホテルにご招待して一席設けていただいたこともあった。

さて、委託された浮田文書の保管場所であるが、社史資料センターと人文研のどちらにお願いするべきか、関係各位と相談の上、最終的に人文科学研究所に決まった。次は作業の遅れの弁明になるが、資料を受け取った直後にかの阪神大震災を経験し、公私ともに生活のルーティン化に手間取ったこと、そして、筆者の北京日本学研究中心への派遣教授決定とその後の頻繁な短期の中国出張など個人的な事情が重なったこと、さらに人文研における目録作成に必要なスタッフの確保の問題など、いろいろの要件をクリアするのに予想以上の時間がかかった。此の間、浮田家をはじめ市川喜崇元人文研所長らいろいろと斡旋の労をお取りいただいた関係者の方々に対して、この場をお借りしてお礼と大幅の遅延をお詫びしたい。しかし、同時に後れ馳せながら、本学にとってはじめての『浮田和民関係資料目録』が、漸くこのようなかたちで日の目を見ることができ関係者の一人として喜びに堪えない。

「目録」略解

次に、目録に掲載された目次に従って、ごく簡単に内容の紹介をしておきたい。

まず本目録の大雑把な特徴としてあげられるのは、六百六十六通に及ぶ多数の来簡である。そのうち、下村孝太郎（130通）、村井知至（56通）の二人が全体の四分の一を占めている。発簡は妻のいつめに対する六十通ばかりである。「1日記・ノート」類は同志社在学中のメモ、「記憶帳」（明治25年の「洋行日記」イエール大学留学の記録）、「在米日誌」（明治25年12月から明治26年7月）、自筆の「略歴及懐」、「自然神学講義」ノート一冊などがある。「2-1 著作原稿」類は長短合わせて三十六編で、内容は政治学に関するもの、信仰告白、人生観、宗教観に関するもの、「支那革命に対する西洋の誤解」（辛亥革命論か？）、アメリカ論（「世界に於けるアメリカの地位」）、国際連盟論などあるが、いずれも執筆年月は不明である。

「2-2 覚書」は十三編あり、テーマを紹介すると以下の通りである。「欧州大戦と帝国の将来」、「世界の大勢より見たる日米問題」、「社会教育者の功績」、「真理に関するメモ」、「欧州大戦の歴史的意義」、「人種問題に於て」、「1906年の米国宗教別大勢」、「社会教育の必要」、「復興問題に就て」、「水の効用」などが見られる。執筆時期は総て不明である。

「2-3 その他原稿」は八編あり、「同志社の理想」（明治40年頃）、「下村孝太郎追悼文」（昭和12年10月20日）、「大隈侯追悼所感」、「健康養生法実験記」、「老子卷四について」、「卒業演説」、The Two Great Lessons of the World War ほか。

次に浮田の「3 著作」であるが、全部で三十五編あり、明治二十年七月十五日の『国民之友』第6号に掲載された「英雄崇拜論」をはじめ、『太陽』、『中央公論』、『文明協会ニューズ』等の雑誌に掲載された複写コピーから成っている。『中央公論』掲載論文は「戦争と教育」（明治37年2月）、「群衆の勢力を利用して国政を左右せんとする風潮を論ず」（大正3年4月）の二篇がある。ここにはとくに、浮田が主筆を勤めた『太陽』の論文が多く、十四編を数える。タイトルの一部を紹介すると次のようになる。「日露開戦論と満韓交換論の得失について」（明治36年10月）、「憲法上の大義」（明治44年10月）、「政党の死活問題」（明治45年1月）、「第三次桂内閣と憲政の大義」（大正2年2月）、「立憲政治の根本義」（大正2年4月）、「時代を取り違へたる国体擁護」（大正2年7月）、「欧州大戦と露国の革命」（大正6年5月）、「総選挙の回顧的批評—立憲政治と群衆心理」（大正6年6月）、「大統領ウイルソンと外交上の大革命」（大正6年7月）、「早稲田大学紛擾の真相及其の根本問題」（大正6年9月）、「国際上の民主主義と日本の国体」（大正7年3月）、「参戦目的と出兵問題」（大正7年4月）、「トライチケの軍国主義政治学を読む」（1）（2）（大正7年9、11月）など、明治の終わりから大正時代の中期における重要なトピックスを取り上げて、浮田は円熟した政治批評を存分に展開しているのである。浮田の著作集もなく、その政治学は忘れ去られた感があるが、今では容易に読むことのできない評論がこのように一堂に集

められた本目録の意義は多とすべきであろう。浮田の政治思想を研究するうえで、これらの「著作」は必読の文献資料となるであろう。

他に昭和初期に『文明協会ニュース』に掲載された評論が十一編ある。いくつか紹介すると、「議会政治はどうなるか」（昭和 7 年 8 月）、「満州国の後に来るもの—中華民國は何処へ行く—」（昭和 7 年 9 月）、「国際連盟の本質的使命」（昭和 8 年 1 月）、「第二維新の到来」（昭和 8 年 3 月）、「新モンロー主義」（昭和 8 年 5 月）、「老衰退嬰の文教当局—京大滝川問題に関して—」（昭和 8 年 8 月）「ナショナリズム対インターナショナリズム」（昭和 8 年 10 月）、「危険なる憲法論」（昭和 10 年 11 月）など、やはり内外の時事問題を取り上げている。

他に「現代文明の大矛盾—新重農政策の提唱」（『同志社新報』41 号、昭和 14 年 11 月）、Japan Advertiser に掲載された英文 For Birth Control: A Japanese Plea for Family Limitation（発表年不明）がある。

次に「4 講義用資料」であるが、浮田が担当したと思われる学科目の政治学や政治学説、国家学、社会学、憲法学・比較憲法、日本憲法の講義資料が揃えられている（以上何れも作成年次は不明）。それに混じって池田美代二筆記、浮田口述の「現代政治批判」（昭和 15—16 年、ノート一冊）がある。昭和十五年、十六年といえは早稲田における講義の最終年次にあたる二年間の講義内容である。八十歳を超えた老教授が、暗雲垂れこめる現下の政治問題を真正面から取り上げて、若き学徒に蘊蓄を傾けたのであろう。

本目録の圧倒的な比重を占める「5 書簡」の部は、浮田和民宛（5—1）浮田いつめ宛（5—2）その他書簡（5—3）に分類されている。分量は大部分が和民宛で、妻いつめ宛の書簡はすべて和民が差出人である。それは明治二十五年八月、浮田がアメリカのイエール大学に留学した時の書簡集で、明治二十七年三月、ボストンから帰国する時まで、全部で五十九通収められている。ほぼ、七日から十日の間隔をおいてせっせと書き送ったものである。イエール大学のあるニューヘブンを到着した頃、彼はいつめに「日記のようにして手紙送る」と書いており、立派にその約束を果たしたわけである。手紙の中身は横浜から乗船してニューヨークに到着するまでの様子、ジェーンズ宅に滞在したこと、現地の気候、特に冬のきびしい寒気のこと、授業のほかにドイツ語、フランス語の独学に励んでいること、日本の留守宅や子供の育児のこと、留学経費のこと、現地の生活は退屈で面白きこと一向になく、一年で帰りたいが同志社のために出かけたことでもあり、折角の洋行なので辛抱して所期の目的を達成したいこと、洋食が大嫌いで味噌汁と米飯が恋しいこと、西洋の風呂に馴染めないことなど、事細かに伝えている。公的な問題では、同志社の近況に触れて、教会も同志社も外国の伝道会社から独立しなければならないことなど述べている。電話やメールといった文明の利器が全く存在しない当時、手紙が親しい家族や友人との気持ちを繋ぐ唯一のコミュニケーションの手段であった。食べ物や生活習慣の違いに戸惑いながら、テレビやラジオもない孤独な異境の生活環境に耐え忍ぶ明治期日本の学者の海外生活がよくうかがわれる内容である。一方、いつめから留学先の夫君に宛てた手紙は五十一通収められている。いつめ

も和民に負けず劣らずの筆まめで、ほぼ一週間から二週間分の日記を同封した封書を定期的に送り出した。それは明治二十五年九月から二十七年二月まで、時計の針のように規則正しく送られている。大切に保存せられたこれらの百余通の手紙を通して、お互いの身近に思いを馳せる二人の「琴瑟相和す」心の交流をたどることができよう。

浮田和民宛ての書簡で最も多いのは、先述のように下村孝太郎（130通）と村井知至（56通）である。下村孝太郎（1861-1937）は和民の妻いつめの実兄で、和民と同じく熊本洋学校から同志社英学校に進み、かつまた「熊本バンド」の一員として、和民とはいわば同志的仲間であった。下村の経歴であるが彼は明治十二年に同志社英学校卒業後、アメリカのウースター・ポリテクニク・インスティテュートに留学、化学を専攻し続いてジョンズ・ホプキンス大学大学院に進んだ。滞米中にコネティカット州の富豪 J.N.ハリスから同志社に自然科学教育の推進のために十萬ドルの寄附が与えられ、寄付者の意向を受けて彼は明治二十三年に帰国、同志社ハリス理化学校の設立に力を貸した。その後彼は実業界に転身し、大阪舎密工業株式会社を起し、やがて同社社長に選任された。下村はまた、第六代同志社社長（1904-1906）に就任している。和民は下村の義弟になるが、実際の年齢では二歳年長であった。二人の信頼関係の厚さは交換された書簡に十分示されている。書簡はすべて昭和初期（昭和4年から12年）のもので、下村は昭和十二年十月に亡くなっているため、ここに収録された書簡は最晩年の数年間のやりとりであることが分かる。二人は何を語り合ったのか。手紙で触れられた話題は多岐にわたるが、その一端は以下の通りである。

下村は元来、自然科学系の人物であるが、染料開発のため試みた実験中に薬品が爆発して、顔面と両眼に大やけどを負い、半ば失明するという不慮の事故を経験した。しかし、その両眼負傷の失意が、「幼年時代に植え付けられた宗教観念の再生」を促して『靈魂不滅觀』（1922）や『我が宗教觀』（1931）の著作が産みだされるが、ここには、後者の『我が宗教觀』を進呈し所感をのべた手紙がある。四十年ぶりに故郷の熊本に帰り詠んだ和歌や洋学校跡の見物のこと、下村が所有する京都黒谷墓地の譲渡の件、小崎（弘道）、金森（通倫）、徳富（蘇峰）、和田（正修）、海老名（弾正）ら旧友「熊本バンド」の消息に関する事柄、旧友たちとの同窓会の計画、明治初期の同志社時代の回顧、曲亭馬琴の「南総里見八犬伝」に関すること、馬琴の文体、八犬伝の木版（古版）など、下村家先祖のこと、熊本細川家入国事情につき伺いの件、数十年ぶりに湯浅吉郎の訪問を受けたこと、四季折々に詠んだ歌、洋学校在学中にジェーンズより聞かされた名句や詩のこと、そして昭和十一年の二・二六事件勃発に関する感想、その他政治、宗教に関する所感、近時の軍の動向とその横暴に対して心痛に堪えずと憂慮したもの、政党や議会に対する感想、支那問題に関する所感、旧友海老名弾正の死、昔の海老名のエピソードなど、話題はきわめて豊富である。二人は姻戚関係なので当然、ごくプライベートな話題もあるが、日常茶飯の話題にとどまらず、下村の豊かな教養と関心対象の広さが印象付けられる。ここに集められた書簡集は、思想と信仰を持ち続けた実業家として知られる下村の人間像を把握するうえで有益な資料となるであろう。

次に紹介するのは村井^{ともよし}知至（1861－1944）である。書簡は全部で五十六通ある。村井は安部磯雄、岸本能武太らとともに日本の初期社会主義運動史上、その名がよく知られた人物である。著書として知られる『社会主義』は、明治三十二年、労働新聞社から刊行された。その社会主義の捉え方は、マルクス主義的唯物史観ではなく、安部磯雄と同じく、キリスト教社会主義の立場に立つものであった。彼は精神的救済はキリスト教により、富の不平等や貧困の解消という物質的救済は社会主義によって実現するという考え方で、それは多様なルーツをもつ明治の社会主義史上、キリスト教的改良主義の系譜に連なるものであった。村井は社会主義研究会（明治32年）や社会主義協会のメンバーであったが、明治三十四年に結成された日本最初の社会主義政党の社会民主党には参加していない。安部や片山潜、幸徳秋水、西川光二郎、木下尚江、河上清の六名の発起人からなる社会民主党は、その顔触れから明らかなように、キリスト教社会主義者が中心で、村井がそのメンバーに名を連ねても決して不思議ではないが、東京外国語学校（現在の東京外国語大学）教授就任、明治三十三年の欧米への渡航が影響したのか、次第に彼は社会主義運動から遠ざかって行った。

社会主義運動から離れた後の軌跡であるが、東京外国語学校や明治大学などの大学で英語学研究と教育活動に従事し、大正期の村井は英語参考書の著者として、受験生を中心に知られる存在となった。

昭和期の村井はどうであったか。本目録に収められた書簡は専ら昭和初期（昭和13年から18年まで）のもので、そこには最晩年の動静が窺える。大正九年に東京外国語学校を辞めた後、第一外国語学校をつくるが、長く続かず、数年後には廃校の憂き目をみている。教職を辞めた後、一九三〇年代に入って、彼は健康法やエッセーを書いて出版している。表面的にはいわば平穏な悠々自適の生活を送っていたが、その心境を写す日記や旅行記などが残されている。浮田にあてた書簡の一つを紹介してみよう。それは日中戦争から太平洋戦争に突入せんとする頃に書かれたもので、戦地にある村井の長男に慰問状を出してくれた浮田の好意に対する長文の感謝状である。その中に、長男が出征するときの心境を「召されしあした万歳を駅にとなへし別れより我身も共に鹿嶋立ちいくさの庭にある心地」と記して、心は朝夕息子の側にあつて一時も離れないと述べている。そしてこの心境は、「日本と共に栄え日本と共に滅ぶべき使命」を自覚する息子の愛国的な心情と一致し共鳴しあっている。ここには、聖戦完遂のために国家と一体となった村井の報国心をみることができる。

そして、かつてキリスト教や社会主義という西洋的文化価値に没頭した若き日の村井の姿はみられない。すでにキリスト教を棄教し、自らの葬儀や告別式は、キリスト教式ではなく神式でやりたいという彼の態度に、伝統的な日本回帰の姿勢を見ることができよう。

本目録に収められた書簡から、晩年の村井が金森通倫（1857－1945）と昵懇の間柄にあったことがよくわかる。金森を交えた会合の開催、金森の家族同伴での故郷熊本の訪問、帰途京都で新島先生の墓参を予定していること、パール・ハーバー勃発当時の金森の戦争観、金森氏伝記編纂のことなど詳しい。そして徳富蘇峰、安部磯雄ら旧友との再会をはたし、旧交を温めたいという書簡が多い。

他に同志社関係者からの来簡では家永豊吉、海老名弾正、小崎弘道、金森通倫、徳富猪一郎、宮川経輝、深井英五、綱島佳吉、堀貞一、村井貞之助、山室軍平、三宅驥一、近藤賢二、牧野虎次、中瀬古六郎、加藤延年、若松兎三郎、小林正直らの名前が散見される。外国人の書簡は少ない。B.M. Brennan, M.L. Clifford Browne, John C. Berry らがあるが、浮田がイエール大学で師事した心理学者で道徳哲学教授ラッド George Trumbull Ladd (1842-1921) の手簡はない。

最後に「6 その他」の雑纂編であるが、全部で六十九点の資料が収録されている。その中で筆者の眼に留まっていたいくつかをアット・ランダムで紹介しておきたい。

まず帰一協会の資料であるが、昭和六年一月に改訂された帰一協会の趣旨、宣言並びに規約、意見書、決議、会員名簿と出版目録がある。それは帰一協会事務局が発行したものである。ほかに、例会（昭和5年3月）記録もある。帰一協会は宗教家懇談会（明治29年設立）の流れをくむもので、明治四十五年六月に創設された。それは宗教者と諸宗教の相互理解を促進し、会員相互のコミュニケーションを増進する組織で、浮田は発起人の一人であった。ほかに、成瀬仁蔵、姉崎正治、渋沢栄一、森村市左衛門らが創設準備会に参加した。宗教家のほかに著名な学者や実業家も参加する会であったが、昭和十七年十二月に解散する。残された資料を通して、浮田は昭和期においても、姉崎正治をはじめ、この会のメンバーと関わりをもっていたことがわかる。ほかに留岡幸助が設立した家庭学校の機関誌『人道』もある。昭和八年十二月と昭和十年十一月発行の二冊なので、二代目校長牧野虎次の下で再刊された『人道』であろう。なお、家庭学校と浮田の関係について、牧野との書簡の交換はあるが、留岡との接触の有無は不明である。雑誌といえば、浮田が主筆時代の『太陽』に掲載された天皇機関説をめぐる美濃部・上杉両博士の論文が収録されている。すなわち、「国体に関する異説」（上杉慎吉、18巻8号掲載）、「上杉博士の『国体に関する異説』を読む」（美濃部達吉、18巻10号掲載）、「再び国体に関する異説に就て」（上杉慎吉、18巻11号掲載）の三篇である。

同志社との関係を示すものとして、同志社大学研究所（現、人文科学研究所）に関する資料がある。同志社大学研究所は、大学の生き残りを賭けて敗戦色濃厚な昭和十九年九月に設立された。本目録には初代所長田村徳治の「同志社大学研究所の使命とその拡大の当然性」（謄写版刷）と題する講演記録と「同志社大学研究所研究会彙報」（昭和19年10月—12月）と題する記録がある。それは研究所が主催する「総合研究会」の記録で第一回から第五回まで収められている。ちなみに、第一部門と第二部門の二つに分かれた研究会で、それぞれ開催されたときの報告者名が記録されている。参考までに発表者は、魚木忠一、園頼三、田村徳治、黒田謙一、富森京次、浜田与作、中島哲人、田畑忍（田畑は「国家思想に就て」報告、場所は総長応接室）の各氏の名前が挙がっている。浮田が新設された研究所にどのような関心をはらっていたのだろうか。

他に「同志社校友同窓会報」三部（昭和9年—10年）、「同志社英学校設立始末」（明治17

年5月)、「明治8,9年熊本洋学校卒業及び明治12年同志社卒業者集合写真の氏名等のメモ」、古い『国民之友』(明治24年—25年)バックナンバーなどもある。

池田美代二の執筆になる浮田和民研究資料も看過できない。蘇峰に浮田の思い出を語らせた「徳富蘇峰先生に浮田和民先生のことを聞く」(昭和29年6月、筆記)や「浮田和民博士の国家論」一七(昭和43年—昭和49年)、「熊本洋学校在学時代の浮田先生」(原稿)、「浮田和民著作目録」(ノート二冊)、「浮田和民先生著作目録材料集め帳」(ノート一冊)、「大正デモクラシー時代における日本の政治学」(抜き刷り)などがあり、浮田研究の先鞭をつけた基礎資料として貴重であろう。なお、池田の編集になる遺稿(昭和6年執筆)『我が宗教観』を読み、我が人生観を述ぶ(「2-1」、原稿用紙160枚)、既述の「現代政治批判」(「4 講義用資料」昭和15-16年 ノート一冊)もある。前者は下村孝太郎書簡(「5-1-219・220」)に見える『我が宗教観』の感想録であろう。

最後に浮田は昭和八年頃、新島評伝の執筆企画があり、海老名をはじめ同志社の旧友たちに新島に関する事跡や思い出、参考資料について問い合わせている。結局、新島伝は書き上げられず、不首尾に終わったのであるが、今回、目録の資料からその証跡を探り当てることはできなかった。さらにもう一点、彼は戦時下と終戦直後にかけて、足かけ六年を費やして『世界大戦全局観』の執筆に精力を集中したが、こちらも完成させることができなかった。昭和三十七年、未定稿のままに池田美代二と原安三郎の手で非売品として遺稿が出版されたのであるが、本目録の「著作原稿」(2-1)にその原稿の一部を確認することができた。

附記 本目録の編集、作成、刊行について、同志社大学人文科学研究所事務長井上正則氏、同資料係竹内くみ子氏には多大の御協力をいただいた。一言、記して感謝申し上げる次第である。

目 次

1	日記・ノート	1
2	2-1 著作原稿	1
	2-2 覚書	3
	2-3 その他原稿	3
3	著作	4
4	講義用資料	5
5	5-1 浮田和民、いつ宛書簡	6
	5-2 浮田和民書簡	35
	5-3 その他書簡	38
6	その他	40

凡例

1. 収録

この目録には、2015年11月に同志社大学名誉教授西田毅氏より寄贈された浮田和民関係資料計967点を収録している。

2. 目録の構成

目録は目次にあるように6分類し、分類によってはさらに小分類した。

6つの分類は年代順に並べたが、5-1（浮田和民、いつ宛書簡）については作成者をあいうえお順（外国人はABC順）に並べ、それぞれを年代順に並べた。

3. 目録の記述

1) 事項

目録の事項は、分類、資料ナンバー、タイトル、作成者、年月日、形態、備考となっている。

2) 分類

分類には6つ分類項目及び小項目に付した番号を記載した。

3) 資料ナンバー

資料ナンバーは分類別に1から順に番号を付した。

4) タイトル

タイトルはすべて原表題に拠ったが、表題のないものについては目録作成者が仮表題を付し、かぎ括弧[]に入れて記述した。書簡のタイトルについては〇〇宛書簡とした。表題だけでは内容がわかりにくいものは備考に内容を簡単に補記した。

5) 作成者

作成者は資料に記載されているものを記入した。作成者の記載のないものについては空欄としたが、推定できるものについてはかぎ括弧[]に入れて記述した。

6) 年月日

・年月日は資料に記載されている年を和暦で記したが、外国で出版されたものや外国からの郵便物については西暦を併用した。記載がない場合は、内容から推定できるものは括弧[]に入れて補記したが、困難なものには「年月日不明」「年不明」等とした。

・書簡の年月日は、封筒および手紙本体にある年月日を記載した。その両方に記載がない場合は、消印の日付を記した。

7) 形態

・形態はページ数、および資料の外形の高さをcmで記載した。横長のものについては縦、横の長さを「×」で結んで記載した。

・書簡については「封書」「はがき」の別を記した。

8) 備考

・料紙の種別、製作の手段等（筆書き、ペン書き等）を記載した。

- ・記事や文章などは書誌的来歴を記載した。
- ・複写物については「電子複写」等の種類を記した。
- ・書簡については簡単な内容を記した。

4. 編集作成担当

この目録の編集作業にあたっては、寄贈者の西田毅先生の協力を得た。目録作成作業は事務室の竹内くみ子が担当した。

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
1	1	[ノート]	[浮田和民]	明治[9]年-明治12年	1冊;20cm	表紙に赤ペンで「明治12年迄同志社在学中筆記、昭和7年11月8日エドワルドの分訂正」とあり
1	2	[ノート]	[浮田和民]	明治[11]年	1冊;20cm	Outline of Psychologyの書写ほか
1	3	[ノート]	浮田和民	年月日不明	1冊;18cm	同志社英学校時代のノートか?
1	4	[ノート]	[浮田和民]	年月日不明	1冊;19cm	
1	5	記憶帳 全	浮田和民	明治20年-昭和7年	1冊;20cm	洋行日記(明治25年)、現今の同志社に関する事、宗教に関する考えなど
1	6	在米日誌	浮田和民	明治25年12月-明治26年7月	1冊;8x15cm	
1	7	略歴及懐	浮田和民	年月日不明	10枚;25cm	用箋に筆書き
1	8	自然神学講義	[浮田和民]	年月日不明	1冊;23cm	表紙に「邦語神学課一年生 浮田所有」とあり

2-1	1	新政治原論	[浮田和民]	年月日不明	108枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	2-1	「我が宗教観」を読み、我が人生観を述ぶ	[浮田和民]	年月日不明	88枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	2-2	浮田和民博士遺稿『我が宗教観』を読み、我が人生観を述ぶ(後篇)	浮田和民著 池田美代二編	年月日不明	160枚;25cm	遺稿は昭和6年に執筆されたもの。早稲田大学原稿用紙にペン書き
2-1	3	新政治学 第1編第1章～第5章	[浮田和民]	年月日不明	155枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	4	第2章 社会	[浮田和民]	年月日不明	43枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	5	政党将来の発展	[浮田和民]	年月日不明	25枚;25cm	相馬屋製原稿用紙に筆書き
2-1	6	新国家 第1章 政治理論の根本問題 第2章 政治問題の研究法	[浮田和民]	年月日不明	48枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	7	世界平和の科学的(経済的)考察	[浮田和民]	年月日不明	9枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	8	[国家に関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	15枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	9	世界的時局問題三論	[浮田和民]	年月日不明	5枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き、後欠
2-1	10	我が信仰の告白	[浮田和民]	年月日不明	2枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き、後欠
2-1	11	科学知識の種々	[浮田和民]	年月日不明	7枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き
2-1	12	[人間生活に関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	36枚;25cm	相馬屋製原稿用紙にペン書き、前後欠
2-1	13	[ナショナリズム対インターナショナリズム]	[浮田和民]	年月日不明	49枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
2-1	14	支那革命に対する西洋の誤解	[浮田和民]	年月日不明	1枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き、後欠
2-1	15	世界大戦全局問題批判	[浮田和民]	年月日不明	4枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き、目次と第1章の一部
2-1	16	自由(『労働の哲学』第2章)	浮田和民 訳	[昭和3年]	26枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き、前後欠
2-1	17	[民族精神に関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	9枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き、6-14頁のみ
2-1	18	信仰之告白	浮田和民	年月日不明	84枚;25cm	用箋にペン書き
2-1	19	信仰之告白 参考	浮田和民	年月日不明	7枚;25cm	用箋にペン書き
2-1	20	第4章 世界に於けるアメリカの地位	[浮田和民]	年月日不明	10枚;25cm	早稲田大学出版部原稿用紙にペン書き、後欠
2-1	21	第6章 宗教	[浮田和民]	年月日不明	2枚;25cm	早稲田大学出版部原稿用紙にペン書き、後欠
2-1	22	第12章 世界に於ける日本の地位	[浮田和民]	年月日不明	1枚;25cm	早稲田大学出版部原稿用紙にペン書き、後欠
2-1	23	[国際連盟に関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	8枚;25cm	早稲田大学出版部原稿用紙にペン書き
2-1	24	第2章 家族	[浮田和民]	年月日不明	47枚;26cm	稲尾製原稿用紙にペン書き
2-1	25	[教育に関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	5枚;26cm	ペン書き
2-1	26	[司法制度に関する翻訳原稿]		年月日不明	93枚;21×33cm	原稿用紙にペン書き
2-1	27	[精神界に関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	2枚;25cm	外山製原稿用紙にペン書き、前欠
2-1	28	[自然界の原則に関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	1枚;21cm	実業之日本原稿用紙にペン書き
2-1	29	[カントに関する原稿]	[浮田和民]	年月日不明	4枚;25cm	原稿用紙にペン書き
2-1	30	[危険なる憲法論]断簡	[浮田和民]	年月日不明	1枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き
2-1	31	[[『政治原論』章別構成メモ]		年月日不明	1枚;22cm	早稲田大学出版部原稿用紙に朱書き
2-1	32	原稿断簡	[浮田和民]	年月日不明	18枚;25cm	早稲田大学出版部原稿用紙にペン書き
2-1	33	原稿断簡	[浮田和民]	年月日不明	12枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き、朱入り
2-1	34	原稿断簡	[浮田和民]	年月日不明	5枚;25cm	
2-1	35	英文原稿	[浮田和民]	年月日不明	2枚;26cm	文明協会原稿用紙にペン書き、80-81頁のみ
2-1	36	英文原稿断簡		年月日不明	7枚;8-26cm	

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
2-2	1	欧州大戦と帝国の将来	[浮田和民]	年月日不明	22枚;25cm	浮田氏用箋にペン書き
2-2	2	世界ノ大勢ヨリ見たル日米問題	[浮田和民]	年月日不明	4枚;23cm	早稲田大学出版部用箋にペン書き
2-2	3	社会教育者ノ功績	[浮田和民]	年月日不明	10枚;25cm	浮田氏用箋に筆書き
2-2	4	[真理に関するメモ]	[浮田和民]	年月日不明	4枚;24cm	浮田氏用箋にペン書き
2-2	5	欧州大戦の歴史的意義	[浮田和民]	年月日不明	9枚;24cm	東京三越製用箋にペン書き
2-2	6	人種問題に於て	[浮田和民]	年月日不明	4枚;24cm	用箋にペン書き
2-2	7	1906年ノ米国宗教別大勢	[浮田和民]	年月日不明	2枚;21cm	白木屋特製用箋にペン書き
2-2	8	社会教育の必要	[浮田和民]	年月日不明	1枚;24cm	浮田氏用箋に筆書き
2-2	9	復興問題に就て	[浮田和民]	年月日不明	12枚;24cm	浮田氏用箋にペン書き
2-2	10	水の効用	[浮田和民]	年月日不明	2枚;22cm	用箋にペン書き
2-2	11	[欧州大戦等に関するメモ]	[浮田和民]	年月日不明	20枚;24cm	用箋断簡にペン書き
2-2	12	[絶対ノ自由に関するメモ]	[浮田和民]	年月日不明	1枚;25cm	東京三越製用箋にペン書き
2-2	13	社会主義及共産主義に関する憲法上の疑義	[浮田和民]	年月日不明	1枚;14x22cm	裏面:著書の章別構成

2-3	1	同志社ノ理想	[浮田和民]	明治40年頃	7枚;25cm	浮田氏用箋に筆書き
2-3	2	下村孝太郎追悼文	[浮田和民]	昭和13年10月20日	26枚;26cm	1枚目欠、文明協会原稿用紙にペン書き
2-3	3	大隈侯追悼所感	[浮田和民]	年月日不明	5枚;17x21cm	ノートにペン書き
2-3	4	健康養生法実験記	[浮田和民]	年月日不明	5枚;21cm	用箋ペン書き
2-3	5	[老子巻四について]		年月日不明	4枚;25cm	山田紙店原稿用紙にペン書き
2-3	6	卒業演説	浮田和民	年月日不明	13丁;24cm	浮田氏用箋に筆書き
2-3	7	The Two Great Lessons of the World War	[浮田和民]	年月日不明	7枚;27cm	
2-3	8	書写原稿(三.新しき(第二期的)ナショナリズム 四.事変の実相と二つの世界戦争 五.日本民族の試金石としての事変)		年月日不明	51枚;25cm	原稿用紙にペン書き

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
3	1	英雄崇拜論	浮田和民	明治20年7月15日	9枚;19cm	『国民の友』第6号掲載
3	2	日露開戦論と満韓交換論の得失に就て	浮田和民	明治36年10月	5枚;26cm	『太陽』第9巻第11号p52-61の電子複写
3	3	戦争と教育	浮田和民	明治37年2月	5枚;21cm	『中央公論』第19年第1号p5-12の電子複写
3	4	生存主義の道徳	浮田和民	明治37年8月	17枚;21cm	『丁西倫理會倫理講演集』第23号p32-65の電子複写
3	5	憲法上の大義	浮田和民	明治44年10月	6枚;26cm	『太陽』第17巻第13号p1-11の電子複写
3	6	政党の死活問題	浮田和民	明治45年1月1日	2枚;25cm	『太陽』第18巻1号p9-10の電子複写
3	7	第三次桂内閣と憲政の大義	浮田和民	大正2年2月	6枚;26cm	『太陽』第19巻第2号p2-12の電子複写
3	8	立憲政治の根本義	浮田和民	大正2年4月	5枚;26cm	『太陽』第19巻第5号p2-11の電子複写
3	9	時代を取違へたる国体擁護	浮田和民	大正2年7月	6枚;26cm	『太陽』第19巻第10号p2-13の電子複写
3	10	群衆の勢力を利用して国政を左右せんとする風潮を論ず	浮田和民	大正3年4月	21枚;21cm	『中央公論』第29年第4号p115-118の電子複写
3	11	輿論政治と群衆心理	浮田和民	大正3年5月	5枚;21cm	『早稲田講演』大正3年5月号p43-51の電子複写
3	12	欧州大戦と露国の革命	浮田和民	大正6年5月	6枚;26cm	『太陽』第23巻第5号p2-12の電子複写
3	13	総選挙の回顧的批評—立憲政治と群衆心理	浮田和民	大正6年6月	5枚;26cm	『太陽』第23巻第6号p2-11の電子複写
3	14	大統領ウイルソンと外交上の大革命	浮田和民	大正6年6月	11枚;26cm	『太陽』第23巻第7号p334-352の電子複写
3	15	早稲田大学紛擾の真相及其の根本問題	浮田和民	大正6年9月	6枚;26cm	『太陽』第23巻第12号p14-23の電子複写
3	16	国際上の民主主義と日本の国体	浮田和民	大正7年3月	5枚;26cm	『太陽』第24巻第3号p15-22の電子複写
3	17	参戦目的と出兵問題	浮田和民	大正7年4月	5枚;26cm	『太陽』第24巻第4号p22-30の電子複写
3	18	トライチケの軍国主義政治学を読む	浮田和民	大正7年9月	4枚;26cm	『太陽』第24巻第11号p16-9の電子複写
3	19	トライチケの軍国主義政治学を読む 第二	浮田和民	大正7年11月	5枚;26cm	『太陽』第24巻第13号p128-136の電子複写
3	20	吉田作彌兄を憶ふ	浮田和民	昭和5年3月	1冊;22cm	『道』No.261p47-50掲載
3	21	十年祭に際し故大隈侯を憶ふ	浮田和民	昭和7年6月	3枚;22cm	『文明協会ニュース』第3輯p4-6
3	22	議会政治はどうなるか	浮田和民	昭和7年8月	8枚;22cm	『文明協会ニュース』第5輯p1-14
3	23	満州国の後に来るもの—中華民國は何処へ行く	浮田和民	昭和7年9月	11枚;22cm	『文明協会ニュース』第6輯p1-21

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
3	24	国際聯盟の本質的使命	浮田和民	昭和8年1月	6枚;22cm	『文明協会ニュース』第10輯p1-11
3	25	第二維新の到来	浮田和民	昭和8年3月	5枚;22cm	『文明協会ニュース』第12輯p1-10
3	26	新モンロー主義	浮田和民	昭和8年5月	8枚;22cm	『文明協会ニュース』昭和8年第2輯p1-15
3	27	世界経済会議所感	浮田和民	昭和8年7月	4枚;22cm	『文明協会ニュース』昭和8年度第4輯p1-7
3	28	老衰退嬰の文教当局—京大瀧川問題に関して—	浮田和民	昭和8年8月	4枚;22cm	『文明協会ニュース』昭和8年度第5輯p1-8
3	29	ナショナリズム対インターナショナリズム	浮田和民	昭和8年10月	7枚;22cm	『文明協会ニュース』昭和8年度第7輯p1-14
3	30	教育改革の基礎的問題 [一]~[九]	浮田和民	昭和9年2月-11月	80枚;21cm	『文明協会ニュース』昭和9年の電子複写
3	31	危険なる憲法論	浮田和民	昭和10年11月	1冊;22cm	『文明協会ニュース』第110号p1-16
3	32	現代文明の大矛盾—新重農政策の提唱	浮田和民	昭和14年11月20日	12p;31cm	『同志社新報』第41号p1
3	33	現代文明の大矛盾—科学知識の種々	浮田和民	年月日不明	3枚;26cm	『科学知識』p208-211
3	34	Japan-The Development and Constitution of Society	Kazutami Ukita	年月日不明	5枚;61cm	
3	35	For Birth Control: A Japanese Plea For Family Limitation	Kazutami Ukita	年不明10月22日	1枚;46cm	“Japan Advertiser”掲載

4	1	教育参考(講演メモ等)		[昭和4-6年]	1包;20cm	「日本ノ維新ト神ノ王国」昭和4年6月9日大坂天満教会五十年記念講演メモほか
4	2	支那問題資料		昭和12-13年	1包;25cm	
4	3	農業問題ノート		昭和14年	1包;17cm	
4	4	第二十世紀政治及経済		昭和15年	1冊;25cm	
4	5	昭和15年参考用文書		昭和15年	1包;27cm	
4	6	現代政治批判	浮田和民述 池田美代二筆記	[昭和15-16年]	1冊;26cm	丸善ノートにペン書き
4	7	政治学参考 歴史的事実		年月日不明	1包;23cm	
4	8	政治学参考 上		年月日不明	1包;20cm	
4	9	政治学参考 下		年月日不明	1包;20cm	
4	10	政治学講義ノート入(議会及代表ノ意義、政党問題、比例投票、選挙制)		年月日不明	1包;22cm	

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
4	11	政治学説ノート		年月日不明	1包;21cm	
4	12	国家及び政府の機能 三権分立、二院制、中央集権及び分権		年月日不明	1包;20cm	
4	13	国家の定義 法律の概念及目的、権利の起源及定義		年月日不明	1包;22cm	
4	14	社会学		年月日不明	1包;20cm	
4	15	社会問題 社会主義、共産主義、革命		年月日不明	1包;19cm	
4	16	憲法学、比較憲法		年月日不明	1包;18cm	
4	17	日本憲法		年月日不明	1包;19cm	
4	18	国体 政体 聯邦制度 主権論 神権説 契約説		年月日不明	1包;22cm	
4	19	講義用参考 重要ノート 第四		年月日不明	1包;23cm	
4	20	英文参考		年月日不明	1包;17cm	
4	21	[Governmentに関する英文メモ]		年月日不明	1枚;22cm	
4	22	[Bosanquet, Kantの著書からの抜書き]		年月日不明	18枚;25cm	東京相馬屋製用箋にペン書き
4	23	"[The War as Before? Foreign Affairs by George Glasgow(The Con. Rev. Sep. '38)の書写]		年月日不明	7枚;25cm	用箋にペン書き
4	24	"[The American Blissard" by G.P.Gooch(The Con.Rev.April 1940)の書写]		年月日不明	2枚;25cm	用箋にペン書き

5-1	1	浮田和民宛書簡	青地義太郎	昭和8年10月6日	封書1通	学費等融通の依頼
5-1	2	浮田和民宛書簡	青地義太郎	昭和8年11月10日	封書1通	学費等融通の依頼
5-1	3	浮田和民宛書簡	青地義太郎	昭和16年8月23日	封書1通	渡満する事になった旨一報
5-1	4	浮田和民宛書簡	青柳篤恒	昭和17年3月3日	封書1通	ご退職記念号中の拙文に対しご教諭礼状
5-1	5	浮田和民宛書簡	青柳篤恒	年不明7月12日	封書1通	御墨蹟拝受につき礼状
5-1	6	浮田和民宛書簡	青柳篤恒	年不明5月18日	封書1通	「六郷六遂」の解
5-1	7	浮田和民宛書簡	青柳篤恒	年不明7月28日	封書1通 (封筒なし)	渡支の概要報告
5-1	8	浮田和民宛書簡	青柳有美	昭和14年2月5日	はがき1通	近況一報

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	9	浮田和民宛書簡	赤松寛美	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	10	浮田和民宛書簡	阿岸嶺照	昭和17年2月1日	封書1通	入隊挨拶
5-1	11	浮田和民宛書簡	秋月左都夫	昭和9年11月15日	封書1通	来る21日開催の帰一協会例会で講演、 臨席御願い
5-1	12	浮田和民宛書簡	秋守常太郎	昭和8年11月22日	封書1通	支那、日本、西洋の歴史に関する質問
5-1	13	浮田和民宛書簡	明田三太	昭和17年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	14	浮田和民宛書簡	麻生正蔵(内)	昭和7年10月18日	はがき1通	村田勤氏の新番地一報
5-1	15	浮田和民宛書簡	有富虎之助	年月不明5日	封書1通	米国ロスより帰国の挨拶
5-1	16	浮田和民宛書簡	荒井元信	昭和14年3月14日	はがき1通	父告別式通知
5-1	17	浮田和民宛書簡	荒井元信	昭和14年6月19日	はがき1通	父逝去の際のご弔意礼状
5-1	18	浮田和民宛書簡	安東守男	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	19	浮田和民宛書簡	T.Iyenaga (家永豊吉)	1931.2.8	封書1通 (封筒なし)	熊本、同志社時代の旧友の事、満州問題 など
5-1	20	浮田和民宛書簡	T.Iyenaga	1935.1.1	はがき1通	大日本掲載の論文に興味深く拝読
5-1	21	浮田和民宛書簡	池崎忠孝	昭和5年5月5日	封書1通	拙稿「日本に於けるアメリカニズムの氾 濫」ご一読くだされば幸甚
5-1	22	浮田和民宛書簡	池田美代二	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	23	浮田和民宛書簡	石橋湛山	昭和12年1月	はがき1通	年頭の祝詞及び昨年の身辺些事
5-1	24	浮田和民宛書簡	石原通夫	昭和14年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	25	浮田和民宛書簡	石光眞清	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	26	浮田和民宛書簡	市川忠人	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	27	浮田和民宛書簡	市嶋謙吉	昭和16年7月10日	封書1通	早大ご退職長年のご尽力に感佩
5-1	28	浮田和民宛書簡	市嶋謙吉	昭和16年7月23日	はがき1通	紅葉送付につき一報
5-1	29	浮田和民宛書簡	市原宏	昭和5年10月11日	封書1通	ご旧友会合のご開催につき亡父の写真 送付
5-1	30	浮田和民宛書簡	伊藤重治郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	31	浮田和民宛書簡	稲村武夫、秀子	昭和21年4月23日	封書1通	ご令室様ご逝去の悔やみ

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	32	浮田和民宛書簡	井上善吉	昭和18年1月5日	はがき1通	病氣全快につき一報
5-1	33	浮田和民宛書簡	井上哲次郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	34	浮田和民宛書簡	井上秀(日本女子大学校長)	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	35	浮田和民宛書簡	入江一敬	[昭和8年]7月10日	封書1通	転籍の件
5-1	36	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和8年8月25日	封書1通	転籍届の件
5-1	37	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和8年10月9日	封書1通	転籍届、熊本市役所に届け済み
5-1	38	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和8年10月15日	封書1通	ご依頼の戸籍謄本送付
5-1	39	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和8年9月6日	封書1通	転籍届不備の件
5-1	40	浮田和民宛書簡	入江一敬	[昭和9年]4月4日	封書1通	克躬様御入籍届けの件
5-1	41	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和16年7月29日	封筒のみ	
5-1	42	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和17年4月11日	封書1通	克躬様戸籍抄本手数料の件
5-1	43	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和17年12月24日	封書1通	年末墓参代拝の件
5-1	44	浮田和民宛書簡	入江一敬	昭和18年7月14日	封書1通	墓参代拝の報告
5-1	45	浮田和民宛書簡	殷汝耕	昭和15年4月	封書1通	通州殉難各位の慰霊法要案内
5-1	46	浮田和民宛書簡	殷汝耕氏歓迎会事務所	昭和15年4月24日	封書1通	殷汝耕氏歓迎会案内
5-1	47	浮田和民宛書簡	殷汝耕	昭和16年10月1日	はがき1通	中国革命記念碑除幕式のため上京
5-1	48	浮田和民宛書簡	浮田家雄	年不明7月18日	はがき1通	空襲の被害伺い
5-1	49	浮田和民宛書簡	浮田いつ	明治25年8月14日	封書1通	ご出立後のお忘れの品について伺い
5-1	50	浮田和民宛書簡	[浮田]五女	明治25年9月16日	封書1通	米国留学先へ、8/13~9/14までの日記同封
5-1	51	浮田和民宛書簡	[浮田]五女	明治25年10月1日	封書1通	米国留学先へ、9/15~9/30までの日記同封
5-1	52	浮田和民宛書簡	[浮田]五女	明治25年10月8日	封書1通	米国留学先へ、10/1~10/8までの日記同封
5-1	53	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治25年10月21日	封書1通	米国留学先へ、10/9~10/20までの日記同封
5-1	54	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治25年11月3日	封書1通	米国留学先へ、10/21~11/2までの日記同封

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	55	浮田和民宛書簡	[浮田]五女	明治25年11月16日	封書1通	米国留学先へ、11/4～11/15までの日記同封
5-1	56	浮田和民宛書簡	[浮田]五女	明治25年12月1日	封書1通	米国留学先へ、11/16～11/30までの日記同封
5-1	57	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治25年12月12日	封書1通	米国留学先へ、12/1～12/11までの日記同封
5-1	58	浮田和民宛書簡	[浮田]五女	明治25年12月21日	封書1通	米国留学先へ、12/12～12/20までの日記同封
5-1	59	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年1月1日	封書1通	米国留学先へ、12/22～1/1までの日記同封
5-1	60	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治26年1月11日	封書1通	米国留学先へ、1/3～1/10までの日記同封
5-1	61	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治26年1月19日	封書1通	米国留学先へ、1/12～1/19までの日記同封
5-1	62	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治26年1月30日	封書1通	米国留学先へ、1/20～1/29までの日記同封
5-1	63	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治26年2月11日	封書1通	米国留学先へ、1/30～2/9までの日記同封
5-1	64	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年2月20日	封書1通	米国留学先へ、2/11～2/19までの日記同封
5-1	65	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年2月28日	封書1通	米国留学先へ、2/20～2/28までの日記同封
5-1	66	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治26年3月13日	封書1通	米国留学先へ、3/1～3/12までの日記同封
5-1	67	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年3月21日	封書1通	米国留学先へ、3/13～3/21までの日記同封
5-1	68	浮田和民宛書簡	[浮田]逸女	明治26年3月31日	封書1通	米国留学先へ、3/22～3/30までの日記同封
5-1	69	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年4月10日	封書1通	米国留学先へ、3/31～4/9までの日記同封
5-1	70	浮田和民宛書簡	[浮田]いつめ	明治26年4月18日	封書1通	米国留学先へ、4/10～4/18までの日記同封
5-1	71	浮田和民宛書簡	[浮田]逸子	明治26年4月28日	封書1通	米国留学先へ、4/19～4/28までの日記同封
5-1	72	浮田和民宛書簡	[浮田]逸子	明治26年5月10日	封書1通	米国留学先へ、4/28～5/10までの日記同封
5-1	73	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年5月19日	封書1通	米国留学先へ、5/11～5/18日までの日記同封
5-1	74	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年6月1日	封書1通	米国留学先へ、5/21～6/1までの日記同封
5-1	75	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年6月9日	封書1通	米国留学先へ、6/2～6/9日までの日記同封 熊本洋学校卒業証書(1876.8.12付)同封
5-1	76	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年6月19日	封書1通	米国留学先へ、6/9～6/19日までの日記同封
5-1	77	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年6月29日	封書1通	米国留学先へ、6/19～6/29日までの日記同封

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	78	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ子	明治26年7月6日	封書1通	米国留学先へ、7/1～7/6日までの日記同封
5-1	79	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年7月19日	封書1通	米国留学先へ、7/8～7/19日までの日記同封
5-1	80	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年7月29日	封筒のみ	
5-1	81	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年8月10日	封書1通	米国留学先へ、7/29～8/9までの日記同封
5-1	82	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	昭和26年8月[20日]	封書1通	米国留学先へ、8/11～8/19日までの日記同封
5-1	83	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年8月29日	封書1通	米国留学先へ、8/20～8/29までの日記同封
5-1	84	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年9月10日	封書1通	米国留学先へ、8/30～9/9日までの日記同封
5-1	85	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年10月1日	封書1通	米国留学先へ、9/19～9/29までの日記同封
5-1	86	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年10月[10日]	封書1通	米国留学先へ、10/1～10/10日までの日記同封
5-1	87	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ女	明治26年10月22日	封書1通	米国留学先へ、10/12～10/21日までの日記同封
5-1	88	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年10月31日	封書1通	米国留学先へ、10/22～10/31までの日記同封
5-1	89	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年11月[9日]	封書1通	米国留学先へ、11/1～11/9日までの日記同封
5-1	90	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年11月19日	封書1通	米国留学先へ、11/9～11/19までの日記同封
5-1	91	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年11月29日	封書1通	米国留学先へ、11/21～11/27日までの日記同封
5-1	92	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年12月11日	封書1通	米国留学先へ、11/28～12/9までの日記同封
5-1	93	浮田和民宛書簡	[浮田]逸子	明治26年12月19日	封書1通	米国留学先へ、12/11～12/19日までの日記同封
5-1	94	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治26年12月29日	封書1通	米国留学先へ、12/20～12/29までの日記同封
5-1	95	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治27年1月9日	封書1通	米国留学先へ、12/30～1/8日までの日記同封
5-1	96	浮田和民宛書簡	[浮田]逸子	明治27年1月19日	封書1通	米国留学先へ、1/10～1/19日までの日記同封
5-1	97	浮田和民宛書簡	[浮田]逸子	明治27年1月27日	封書1通	米国留学先へ、1/20～1/27日までの日記同封
5-1	98	浮田和民宛書簡	[浮田]逸子	明治27年2月6日	封書1通	米国留学先へ、1/28～2/5までの日記同封
5-1	99	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	明治27年2月[18日]	封書1通	米国留学先へ、2/6～2/18までの日記同封
5-1	100	浮田和民宛書簡	[浮田]いつ	年不明7月29日	封書1通 (封筒なし)	米国留学先へ近況

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	101	浮田和民宛書簡	浮田國彦	昭和9年3月18日	はがき1通	ご希望の生粕送付の件
5-1	102	浮田和民宛書簡	浮田國彦	昭和20年7月18日	はがき1通	空襲の被害伺い
5-1	103	浮田和民宛書簡	浮田生	1925.11.6	はがき1通	ベルリンの下宿の様子
5-1	104	浮田和民宛書簡	氏家信	昭和10年5月28日	はがき1通	転居通知
5-1	105	浮田和民宛書簡	牛場清次郎	昭和10年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	106	浮田和民宛書簡	内田樞了(久本寺住職)	昭和11年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	107	浮田和民宛書簡	内田樞了	昭和16年7月18日	はがき1通	浮田家御供養料拝受
5-1	108	浮田和民宛書簡	宇野知一	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	109	浮田和民宛書簡	浦口文治	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	110	浮田和民宛書簡	永楽倶楽部	昭和14年5月23日	封書1通	家族会『海軍記念の夕』案内
5-1	111	浮田和民宛書簡	江幡辰三郎	昭和8年8月3日	封筒のみ	
5-1	112	浮田和民宛書簡	江幡辰三郎	昭和8年12月4日	封書1通	書類作成に戸籍抄本必要につき一報
5-1	113	浮田和民宛書簡	江幡辰三郎	昭和9年4月13日	封書1通	戸籍上の手続き終了につき一報
5-1	114	浮田和民宛書簡	江幡辰三郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	115	浮田和民宛書簡	海老名弾正	昭和8年7月20日	封書1通	新島先生伝記ご著述につき、朝拝に関する新島との一件陳述
5-1	116	浮田和民宛書簡	海老名弾正 美屋子	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	117	浮田和民宛書簡	大久保利武	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	118	浮田和民宛書簡	大久保利武	昭和14年5月18日	はがき1通	ラッド博士の甥来日歓迎会開催につき案内
5-1	119	浮田和民宛書簡	大河内隆弘	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	120	浮田和民宛書簡	大澤文治	昭和7年10月	はがき1通	住所変更の知らせ
5-1	121	浮田和民宛書簡	大澤文治	昭和14年5月	はがき1通	転居の挨拶
5-1	122	浮田和民宛書簡	大多和たけ	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	123	浮田和民宛書簡	大束直太郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	124	浮田和民宛書簡	大西邦敏	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	125	浮田和民宛書簡	大原万平	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	126	浮田和民宛書簡	岡田千里	昭和14年3月20日	封書1通	父永眠に際しご弔慰礼状
5-1	127	浮田和民宛書簡	岡田松生	昭和5年10月22日	封書1通	旧友会合の場所日時等一報
5-1	128	浮田和民宛書簡	岡田松生	昭和5年10月26日	はがき1通	集りの確定人数通知御願い
5-1	129	浮田和民宛書簡	岡田松生	昭和5年11月26日	封書1通	加藤兄の写真郵送
5-1	130	浮田和民宛書簡	尾崎楠馬	昭和14年5月22日	封筒のみ	
5-1	131	浮田和民宛書簡	尾崎楠馬	昭和14年5月28日	はがき1通	回答礼状
5-1	132	浮田和民宛書簡	小田部内科医院	昭和7年10月8日	はがき1通	診療所落成の通知
5-1	133	浮田和民宛書簡	改造社	昭和7年9月29日	封筒のみ	
5-1	134	浮田和民宛書簡	廓清会本部	昭和17年6月18日	封書1通	会費の振込み依頼
5-1	135	浮田和民宛書簡	学生百貨 三菱	昭和8年9月14日	はがき1通	同志社五十年裏面史郵送の件
5-1	136	浮田和民宛書簡	加藤延年	昭和[8]年10月28日	封書1通	新島襄(新島公義写)「日本脱出の記」の青焼きコピー同封
5-1	137	浮田和民宛書簡	加藤延年	昭和8年10月27日	はがき1通	新島公義氏写本新島先生自叙伝1冊謹呈
5-1	138	浮田和民宛書簡	加藤勇次郎	昭和5年10月20日	封筒のみ	
5-1	139	浮田和民宛書簡	金森通倫	昭和14年4月14日	封書1通	村井氏の病氣見舞いへ行った旨、つつじ拝受の礼
5-1	140	浮田和民宛書簡	金森通倫	昭和16年7月1日	はがき1通	徳富氏今は病氣にて誰にも会えない旨一報
5-1	141	浮田和民宛書簡	河合半次郎	昭和8年12月22日	封書1通	紹介状の礼状
5-1	142	浮田和民宛書簡	河合半次郎	昭和11年2月19日	封書1通 (封筒なし)	娘入学の件につき相談
5-1	143	浮田和民宛書簡	河岸峨照	昭和17年4月10日	封書1通	息子入営につき揮毫御願い
5-1	144	浮田和民宛書簡	河野正義	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	145	浮田和民宛書簡	歸一協会	年月日不明	封筒のみ	
5-1	146	浮田和民宛書簡	木口重彦	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	147	浮田和民宛書簡	岸重郎	昭和14年6月	はがき1通	文部省奉職につき挨拶
5-1	148	浮田和民宛書簡	木藤長	大正9年1月2日	封筒のみ	
5-1	149	浮田和民宛書簡	木村清松	1920.7.31	封書1通	ロンドンの滞在先宛、サウスハンプトン到着の日一報
5-1	150	浮田和民宛書簡	H.S.Kimura	1920.8.10	封書1通	イギリスでお会いできるのを楽しみにしている
5-1	151	浮田和民宛書簡	木村清松	大正12年6月23日	封書1通	写真はお宅へ届ける旨一報
5-1	152	浮田和民宛書簡	金慶吉	昭和8年11月15日	封書1通	横浜工業懇話会の折に拙宅にお立ち寄りお願い
5-1	153	浮田和民宛書簡	金慶吉	年不明10月17日	封書1通	文明協会でのご講演は都合で拝聴できぬ旨一報
5-1	154	浮田和民宛書簡	葛岡龍吉	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	155	浮田和民宛書簡	葛岡龍吉	年不明4月15日	封書1通	貴著の書名に関する件
5-1	156	浮田和民宛書簡	栗山博	昭和14年8月1日	封書1通	大陸視察旅行帰京挨拶
5-1	157	浮田和民宛書簡	桑田透一	昭和7年10月20日	封書1通	御高著拝受につき礼状
5-1	158	浮田和民宛書簡	桑田透一	昭和17年8月17日	封書1通	白桃送付一報
5-1	159	浮田和民宛書簡	煙山専太郎	昭和7年10月18日	封書1通	御高著拝受礼状、小集会への臨席都合伺い
5-1	160	浮田和民宛書簡	煙山専太郎	昭和17年12月11日	封緘はがき1通	朝鮮から到来の品送付につき一報
5-1	161	浮田和民宛書簡	小泉精三	昭和一年2月5日	封書1通	貴地訪問につき都合一報お願い
5-1	162	浮田和民宛書簡	小久江成一	昭和9年3月23日	封書1通	古希記念帳に揮毫依頼
5-1	163	浮田和民宛書簡	小久江成一	昭和9年3月26日	はがき1通	揮毫の依頼
5-1	164	浮田和民宛書簡	小久江成一	昭和9年5月3日	封書1通	揮毫礼状
5-1	165	浮田和民宛書簡	小久江成一	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	166	浮田和民宛書簡	小倉 絢蔵	大正9年10月18日	封書1通	ご来会ご高話礼状
5-1	167	浮田和民宛書簡	小崎弘道	昭和7年10月21日	はがき1通	御近著拝受につき礼状
5-1	168	浮田和民宛書簡	小崎弘道	昭和一年9月25日	封書1通	お申し越しのクラス会の件至極賛成
5-1	169	浮田和民宛書簡	小崎弘道	年不明10月17日	はがき1通	旧友らとの会合の日程につき一報

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	170	浮田和民宛書簡	コザキミナコ	昭和14年5月15日	電報1通	母死去の一報
5-1	171	浮田和民宛書簡	小林正直	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	172	浮田和民宛書簡	小林正直	昭和14年4月3日	はがき1通	貴著小冊子拝受につき礼状
5-1	173	浮田和民宛書簡	小林正之	[昭和8年]7月24日	封書1通	「農村青年教育論の一節」同封
5-1	174	浮田和民宛書簡	小山谷蔵	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	175	浮田和民宛書簡	五来欣造	昭和14年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	176	浮田和民宛書簡	近藤賢二	昭和8年2月2日	封書1通	貴原稿拝見、校正上の間違いを記す
5-1	177	浮田和民宛書簡	近藤賢二	[昭和17年]7月12日	封書1通	御蔵書同志社へ寄贈の件につきお願い
5-1	178	浮田和民宛書簡	近藤賢二	[昭和17年]11月3日	封書1通	深井、中嶋両氏同伴にて御蔵書拝見に 何う旨一報
5-1	179	浮田和民宛書簡	近藤賢二	[昭和17年]11月10日	封書1通	村井文庫の件、遺族も同志社へ寄贈を承諾
5-1	180	浮田和民宛書簡	近藤賢二	昭和18年2月9日	封書1通	蔵書同志社へ寄託の件につき、同志社からの回答同封
5-1	181	浮田和民宛書簡	近藤賢二	年不明4月24日	封書1通	十年振りに諸先輩方の先生を囲む会参加につき礼状
5-1	182	浮田和民宛書簡	近藤賢二	年不明6月2日	封書1通	早稲田ご勇退の機に、徳富先生らと集まりもたれては如何
5-1	183	浮田和民宛書簡	齋藤直芳	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	184	浮田和民宛書簡	坂田恒蔵	1914.2.18	はがき1通	シアトルから一報
5-1	185	浮田和民宛書簡	阪部温一(東京日日新聞)	昭和17年4月16日	封書1通	教育問題に関する論説へのご教示につき礼状
5-1	186	浮田和民宛書簡	佐久間奎雄	年不明6月13日	封書1通	人材紹介の依頼
5-1	187	浮田和民宛書簡	佐佐木信綱、武田祐吉	昭和8年7月	封書1通	小生編纂の国語教科書に御高作掲載の件承諾につき礼状
5-1	188	浮田和民宛書簡	佐藤堅司	昭和14年5月20日	はがき1通	退職の挨拶
5-1	189	浮田和民宛書簡	[佐藤]劔之助	昭和2年3月17日	封書1通	結婚の報告ほか
5-1	190	浮田和民宛書簡	K.Sato(大坂毎日新聞社)	昭和3年1月	封筒のみ	
5-1	191	浮田和民宛書簡	佐藤劔之助	昭和14年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	192	浮田和民宛書簡	佐藤静子	昭和8年1月1日	はがき1通	年賀状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	193	浮田和民宛書簡	志儀悌雄	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	194	浮田和民宛書簡	七條正一	年不明12月27日	封書1通	遠路御出向に対し礼状
5-1	195	浮田和民宛書簡	篠崎又七	昭和11年3月3日	封書1通	昭和10年度小作料の件につき一報
5-1	196	浮田和民宛書簡	柴崎次郎	昭和9年3月26日	封書1通	朝鮮赴任先より幣況一報
5-1	197	浮田和民宛書簡	柴田隆七	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	198	浮田和民宛書簡	清水千代	年不明4月16日	封書1通	息子不結果の件一報
5-1	199	浮田和民宛書簡	清水泰次	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	200	浮田和民宛書簡	下田次郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	201	浮田和民宛書簡	下村明	昭和14年3月19日	はがき1通	「大日本」拝受につき礼状
5-1	202	浮田和民宛書簡	下村明	年不明7月22日	封書1通	先日の訪問の礼状
5-1	203	浮田和民宛書簡	下村清子	[昭和21年]4月22日	封書1通	伯母上様永眠の悔やみ
5-1	204	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和10年3月3日	封書1通	八犬伝の文句ご教示に対し礼状
5-1	205	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和10年3月8日	封書1通	八犬伝中に「神は霊なり」の如き文章を発見につき一報
5-1	206	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和10年7月31日	封書1通	別便にてラッセル氏の問題に対する服部、村井、日野氏の所感送付
5-1	207	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和10年10月21日	はがき1通	馬琴の御研究微を極め敬服の至り
5-1	208	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和10年11月16日	封書1通	同志社60周年記年号(同窓会報)を読んだ父の所感ほか
5-1	209	浮田和民、逸子宛書簡	下村孝次	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	210	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和12年2月1日	封書1通	「三夜の夢」和文掲載の件につき礼状
5-1	211	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和12年3月1日	封書1通	和田博士の「能」に関する書物面白く拝見
5-1	212	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和12年9月27日	はがき1通	父の病状報告及び御本拝受礼状
5-1	213	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和12年10月3日	封書1通	養生法に関する御本御貸与につき礼状
5-1	214	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和12年10月8日	封書1通	ハーバード大学総長の件ご教示につき礼状
5-1	215	浮田和民宛書簡	下村孝次	昭和12年10月16日	封書1通	エリオット総長の詳細ご教示につき礼状

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	216	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和4年7月28日	はがき1通	茅ヶ崎大地震の見舞い
5-1	217	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和4年9月30日	封書1通	マルクスの議論を英語で説明した本拝借の件ほか
5-1	218	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和5年10月14日	封書1通	金森、小崎氏らとの旧友会合の件につき一報
5-1	219	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和6年5月5日	封書1通	『我が宗教観』一部呈上
5-1	220	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和6年5月12日	封書1通	『我が宗教観』を著しての所感
5-1	221	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和6年5月27日	封書1通	我本の中にある「父上より最も悲しき使命」云々の詳細
5-1	222	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和6年6月10日	封書1通	『三夜の夢』に綴った事件について
5-1	223	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和6年6月18日	封書1通	拙著に対するご批評文の原稿送付お願い
5-1	224	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和6年7月6日	封書1通	大江氏の履歴調査につき礼状
5-1	225	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和7年2月18日	封書1通	本月26日から28日までの内にお立寄りの件了承
5-1	226	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和7年3月15日	封書1通	熊本での下村家の墓参及び写真ご送付につき礼状
5-1	227	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和7年3月25日	封書1通	熊本ご旅行中の仔細拝見、別紙に記憶のまま熊本本山村御殿辺りの様子記す
5-1	228	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和7年7月17日	封書1通	小生の旧墓地譲渡の件了承、熊本洋学校時代の写真ご送付の礼
5-1	229	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年4月5日	封書1通	4月下旬か5月に熊本行き計画、黒谷墓地の件委細
5-1	230	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年4月21日	封書1通	熊本行きは5月早々に決定
5-1	231	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年5月9日	封書1通	熊本行きは12、3日ごろまで日延べ
5-1	232	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年5月22日	封書1通	去る12日より熊本行き、墓参や洋学校跡見物する
5-1	233	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年5月26日	封書1通	40年振りに熊本に帰って詠みし歌数首
5-1	234	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年6月4日	封書1通	御著英文記載の雑誌拝見、立派な英文に感服
5-1	235	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年6月11日	封書1通	老齢なるものの境遇を体験し驚くこと多し、有益なる著書あらばご教示願いたし
5-1	236	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年6月16日	封書1通	小生所有の黒谷の旧墓地譲渡の件意向伺い
5-1	237	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年6月20日	封書1通	黒谷墓地の件委細拝承
5-1	238	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年6月24日	封書1通	新島先生の伝記執筆ご勘考中と拝承

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	239	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年6月29日	封書1通	下村旧墓地見取図及び今後の手続きの件一報
5-1	240	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年7月31日	封書1通	"World Affairs Interpreter"数冊送付、雑誌中の話について
5-1	241	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年7月5日	封書1通	墓地名義書換代金落手
5-1	242	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年7月7日	封書1通	墓地名義書換の件一報
5-1	243	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年9月22日	封書1通	小崎氏長男の病気の由、ご夫妻には気の毒千万
5-1	244	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年9月27日	封書1通	知人の死の報に寂寞の感に耐えず
5-1	245	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年10月5日	封書1通	拝借した老齡に関する本、大いに参考になる点多し
5-1	246	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年11月8日	封書1通	東上の帰りに茅ヶ崎に寄るつもりが果たさず帰宅
5-1	247	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和8年11月17日	封書1通	小生方の書籍目録を作成、ご入要の本あらば呈上
5-1	248	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年1月5日	封書1通	友樹の病気、一日も早い全快祈る
5-1	249	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年2月27日	封書1通	和田氏永眠の報に驚く
5-1	250	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年3月14日	封書1通	息子明に事業全てを譲渡、武藤山治の遭難記事同封
5-1	251	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年3月22日	封書1通	拝借のBellocの"Napoleon"面白く拝読
5-1	252	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年5月5日	封書1通	度々の病気見舞い礼状、お互い古希を過ぎ用心が第一
5-1	253	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年5月7日	封書1通	昔を思い出し事柄(同志社時代のこと)綴る
5-1	254	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年8月29日	封書1通	明治12年ごろ岸和田に滞留当時、及びその後熊本での記憶があればご一報お願い
5-1	255	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年9月8日	封書1通	明治13、4年の記憶お示しだされ大いに参考になる
5-1	256	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年9月26日	封書1通	明治13、4年頃の記憶につき、明瞭なる御回答いただき感謝
5-1	257	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年10月3日	封書1通	熊本私塾勤学社の件ご回答に感謝
5-1	258	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年10月16日	封書1通	小生の身体の状況、貴兄子息の病気見舞い
5-1	259	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年11月27日	封書1通	余田司馬人氏の訃報に接して
5-1	260	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年12月5日	封書1通	五女子へ和歌の師につくことを薦める
5-1	261	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和9年12月19日	封書1通	「雪中杉」の句披露

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	262	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和9年12月29日	封書1通	和歌に関する所感、英文出版に関する件ほか
5-1	263	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和10年1月18日	封書1通	針のあゆみの歌着想に感心
5-1	264	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年1月29日	封書1通	ローチ氏の死去いつ頃か一報願う
5-1	265	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和10年2月2日	封書1通	詠草拝受、御上達のほど感ず
5-1	266	浮田五女子宛書簡	下村孝太郎	昭和10年2月2日	はがき1通	歌1首
5-1	267	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年2月7日	封書1通	吉田存命中に交わした文通の内容など
5-1	268	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年2月28日	封書1通	信用する友人3名に送付の別紙に腹藏なき返答御願う
5-1	269	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和10年3月4日	はがき1通	歌1首
5-1	270	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年3月30日	封書1通	遠路の見舞いに対する礼状
5-1	271	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年4月5日	封書1通	Lee Russellからの問題にたいする返答に協力御願う
5-1	272	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和10年4月19日	封書1通	詠草拝見、小生の病は一進一退
5-1	273	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年4月20日	封書1通	小生家庭医所蔵の『八犬伝』の件、下村家祖先の件など
5-1	274	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年4月28日	封書1通	熊本細川家入国の件につき数問伺い
5-1	275	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年5月25日	封書1通	馬琴の古版五拾円位で入手できるものあれば購入御願う
5-1	276	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年6月10日	封書1通	馬琴墓の写真及び馬琴せんべい拝受礼状
5-1	277	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年7月31日	封書1通	先日小崎氏宅で聞いた金森氏の事果たして本当かご存知か
5-1	278	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年8月14日	封書1通	馬琴流の文体について、金森氏の自由思想への転向についてほか
5-1	279	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年8月24日	封書1通	Mr.Lee Russellからの返書同封
5-1	280	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年9月2日	封書1通	Russellからの手紙の件、小生の病気は一向に回復せず
5-1	281	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年9月4日	封書1通	松山氏の遺品に、年代順に整理された小生と文通した数十年間の手紙並詠草あり感涙す
5-1	282	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年9月7日	封書1通	信州からご帰宅後の風邪見舞い
5-1	283	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年9月15日	封書1通	奈翁の自殺についてほか
5-1	284	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年9月26日	封書1通	八犬伝の木版について伺い

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	285	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年10月11日	封書1通	先日30年振りに徳富猪一郎氏が来訪
5-1	286	浮田五女子宛書簡	下村孝太郎	昭和10年10月11日	はがき1通	返歌1首
5-1	287	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年10月16日	はがき1通	馬琴寺の写真拝受につき礼状
5-1	288	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年10月22日	封書1通	新島先生も自刑の節蘆花の八犬伝を読んだという話面白く承る
5-1	289	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年11月3日	封書1通	数十年振りで湯浅吉郎氏の訪問を受ける
5-1	290	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年11月19日	封書1通	湯浅吉郎氏から三首の古友慕う歌送ってくる
5-1	291	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年11月20日	封書1通	熊本バンド記念事業費の資金募集の件につき、意見請う
5-1	292	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年11月27日	封書1通	熊本バンド記念寄付の件、募金方法は疑問
5-1	293	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和10年12月6日	封書1通	英国リーズ大学Cohen教授の死去に際して
5-1	294	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和11年1月1日	はがき1通	年頭の歌一首
5-1	295	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和11年1月5日	はがき1通	歌一首
5-1	296	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和11年2月1日	封書1通	「春渡」の歌
5-1	297	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年2月28日	封書1通	2.26事件に関する所感
5-1	298	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年3月21日	封書1通	いつ子の病気見舞い、論文の訂正文拝受
5-1	299	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和11年3月29日	はがき1通	春の歌一首
5-1	300	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年4月5日	封書1通	英文拙詩「三夜の夢」出版の前に訂正したき箇所あり
5-1	301	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年4月9日	封書1通	現今基督教滅亡の時期に際し再調査の必要ありはせぬかと愚考
5-1	302	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年4月29日	封書1通	熊本洋学校在学中にゼンズより聞かされた名句、詩について伺い
5-1	303	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年5月6日	封書1通	トマス・ジェファソンの名句について
5-1	304	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和11年5月25日	封書1通	父上の形見の小刀の話し、母上の御歌の入った包同封
5-1	305	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年5月26日	封書1通	政治、宗教に関する所感
5-1	306	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年6月2日	封書1通	Smithelles博士からの宗教に関する手紙同封、ご感想を
5-1	307	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年7月22日	封書1通	世界は物騒になるが、老齢の身には安心立命が肝心

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	308	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年8月30日	封書1通	謡曲の「砧」を聞き親友の吉田のこと思い出す
5-1	309	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年9月6日	封書1通	仏国小説『家なき子』の感想ほか
5-1	310	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年9月11日	はがき1通	ご送付の洋書暫時拝借
5-1	311	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年9月13日	封書1通	自殺の問題について
5-1	312	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和11年9月16日	封書1通	今日の我宗教観では葬式は神道式が適切かと思うが、御高見伺い度
5-1	313	[浮田いつ子宛書簡]	下村孝太郎	昭和11年12月8日	はがき1通	「折にふれて」の歌一首
5-1	314	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和11年12月29日	封書1通	詠草
5-1	315	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年1月16日	封書5通	家内の病状、海老名夫妻自動車事故の件、ご発行の英文雑誌拝承ほか
5-1	316	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年1月18日	封書1通	英文書簡、石川、青柳らとの宗教問題に関する議論について
5-1	317	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年1月25日	封書1通	2月号掲載の小生英詩和訳訂正の件
5-1	318	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年2月1日	封書1通	政治観につきご教示仰ぎたし。この頃の軍の横暴心痛に堪えず
5-1	319	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年2月20日	封書1通	政党、議会に対する所感ほか
5-1	320	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年2月3日	封書1通	明治9年の上京の時の思い出ほか
5-1	321	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年2月9日	封書1通	小生を熊本バンドの代表的一人とお考えの根拠問う
5-1	322	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年3月6日	はがき1通	文明協会ニュース2月号拝受
5-1	323	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年3月9日	封書1通	明治初年以後の熊本での思い出、熊本の旧同級生集りの件ほか
5-1	324	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年3月18日	封書1通	“Reign of Law”を読んだ感想
5-1	325	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年3月22日	封書1通	村井氏に金森氏訪問を依頼
5-1	326	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年4月1日	封書1通	金森通倫との思い出話ほか
5-1	327	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	昭和12年4月12日	封書1通	並河兵馬氏未亡人來訪報告、詠草同封
5-1	328	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年4月17日	封書1通	英文書簡
5-1	329	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年4月29日	封書1通	英文書簡
5-1	330	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年5月10日	封書1通	原田二郎氏より聞取りした金森氏の変化の詳細

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	331	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年5月15日	封書1通	海老名氏危篤の電報届く
5-1	332	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年5月29日	封書1通	海老名の死感無量、漢字に関する所感
5-1	333	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年6月15日	封書1通	英詩執筆の件、海老名弾正昔のエピソード、政変の件
5-1	334	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年6月25日	封書1通	先日の墓参での出来事、熊本洋学校生生存者僅少になるゆえ小崎らと会合してはいかが
5-1	335	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年7月7日	封書1通	詩に関する所感、Foo Lin氏の英詩同封
5-1	336	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年7月11日	封書1通	「花盗」と題し和歌一首、支那問題について
5-1	337	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年7月24日	封書1通	「海老名先生謝恩記念日建設募金」に対する所感
5-1	338	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年7月26日	封書1通	支那問題や最近読んだ心理学の本についての所感
5-1	339	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年8月6日	封書1通	海老名謝恩碑の件、支那問題ほか
5-1	340	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年8月22日	封書1通	霊魂不滅説問題について
5-1	341	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	昭和12年12月31日	はがき1通	歌一首
5-1	342	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	年不明8月12日	封書1通 (封筒なし)	村井知至氏と40年振りに面会す
5-1	343	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	年不明7月11日	封書1通	墓地の地所代の件
5-1	344	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	年不明3月2日	封書1通	ラッセルより御論文に対しての礼讃状同封
5-1	345	浮田いつ子宛書簡	下村孝太郎	年月日不明	封書1通	松山氏死去につき詠みたる歌
5-1	346	浮田和民宛書簡	下村孝太郎	年不明1月8日	封書1通	吉田の亡骸と対面した際の模様一報
5-1	347	浮田和民宛書簡	松雲院	昭和16年7月18日	はがき1通	供養料拝受
5-1	348	浮田和民宛書簡	正田淑子	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	349	浮田和民宛書簡	『新興巫』編集部	昭和14年5月	はがき1通	『新興巫』への寄稿依頼
5-1	350	浮田和民宛書簡	菅野謙	昭和8年8月30日	封書1通	郷土読本出版のため故山崎為徳氏の件につき伺い
5-1	351	浮田和民宛書簡	菅野謙	昭和8年9月23日	封書1通	お申し越しの写真送付
5-1	352	浮田和民宛書簡	菅野謙	[昭和]8年11月29日	封書1通	珍しき品拝受につき礼状
5-1	353	浮田和民宛書簡	杉浦謹次郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	354	浮田和民宛書簡	鈴木喜三郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	355	浮田和民宛書簡	鈴木茂雄	昭和9年5月6日	封書1通	揮毫礼状
5-1	356	浮田和民宛書簡	スズキタツジ	昭和15年4月19日	電報1通	欠席の一報
5-1	357	浮田和民宛書簡	駿田二三	昭和9年2月	封書1通	「エール大学関係昭和8年度収支決算書」同封
5-1	358	浮田和民宛書簡	駿田二三	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	359	浮田和民宛書簡	関與三郎	大正9年11月16日	はがき1通	パリ御到着の際には伺えずご容赦を
5-1	360	浮田和民宛書簡	園田重賢	昭和9年1月20日	封書1通	先生ご執筆の『新島伝』に期待
5-1	361	浮田和民宛書簡	園田重賢	昭和14年3月21日	封書1通	「大日本」拝受の礼及び近況報告
5-1	362	浮田和民宛書簡	園田重賢	昭和17年5月5日	封書1通	「文明協会ニュース」拝受の礼及び近況報告
5-1	363	浮田和民宛書簡	高島文雄	昭和17年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	364	浮田和民宛書簡	高寺信二	年月日不明	はがき1通 (軍事郵便)	先生の大平和論もこのところ根拠あるものと愚察す
5-1	365	浮田和民宛書簡	高寺信二	年月日不明	はがき1通 (軍事郵便)	満州から近況
5-1	366	浮田和民宛書簡	瀧澤伯永	昭和9年2月27日	封書1通	研究提出期日猶予の件お願い
5-1	367	浮田和民宛書簡	瀧澤伯永	昭和9年4月11日	封書1通	本年より奨学金の交付を得る
5-1	368	浮田和民宛書簡	多田美一	大正9年8月12日	封書1通	スイスで加療の後帰国する予定
5-1	369	浮田和民宛書簡	田中敬造	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	370	浮田和民宛書簡	田畑磐門	昭和20年11月12日	封書1通	三重県より国会議員立候補を決定
5-1	371	浮田和民宛書簡	塚越菊治	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	372	浮田和民宛書簡	網島佳吉	昭和3年4月17日	はがき1通	横井君追悼演説会は盛会にて聴衆八百を数える
5-1	373	浮田和民宛書簡	網島佳吉	昭和8年8月24日	封筒のみ	
5-1	374	浮田和民宛書簡	網島佳吉	年不明3月29日	封書1通	怪我見舞いに対する礼、満州問題に関する御著の出版心待ち
5-1	375	浮田和民宛書簡	坪田留蔵	年月日不明	はがき1通 (軍事郵便)	近況
5-1	376	浮田和民宛書簡	東儀季治	大正10年4月21日	封書1通	ご帰朝の趣拝承、帰京後参上

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	377	浮田和民宛書簡	東京信託株式会社	大正3年12月7日	封筒のみ	
5-1	378	浮田和民宛書簡	同志社校友会	昭和17年3月14日	封書1通	御肖像写真法学部研究室内に掲げたく一葉借用お願い
5-1	379	浮田和民宛書簡	同志社創立六十周年記念誌編集部	昭和10年8月4日	封書1通	同志社六十周年記念誌への原稿依頼
5-1	380	浮田和民宛書簡	同志社大学社会事業教育後援会	昭和16年7月5日	はがき1通	会員証
5-1	381	浮田和民宛書簡	十河佑貞	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	382	浮田和民宛書簡	時雄	大正5年12月22日	封書1通	Korea Maruの船上で詠んだ漢詩
5-1	383	浮田和民宛書簡	徳田仙吉	昭和17年2月19日	封書1通	内地送還となり療養中、揮毫御願ひ
5-1	384	浮田和民宛書簡	徳富猪一郎	昭和14年3月20日	封書1通	「大日本」拝受につき礼状
5-1	385	浮田和民宛書簡	徳富猪一郎、深井英五、三宅驥一	昭和14年4月1日	はがき1通	古谷久綱君追想記念会案内
5-1	386	浮田和民宛書簡	徳富猪一郎	昭和14年4月吉日	封書1通	喜寿の内祝い品送付
5-1	387	浮田和民宛書簡	徳富猪一郎	昭和14年7月19日	封書1通	見舞いの礼、病状報告
5-1	388	浮田和民宛書簡	徳富猪一郎	昭和15年4月16日	封書1通	20日のご招待につき貴地への到着時間伺ひ
5-1	389	浮田和民宛書簡	徳富猪一郎	昭和15年4月20日	封書1通	本日訪問の礼状
5-1	390	浮田和民宛書簡	徳富猪一郎	昭和16年10月	封書1通	快気挨拶
5-1	391	浮田和民宛書簡	徳富静子	昭和14年8月吉日	封書1通	主人退院の報告
5-1	392	浮田和民宛書簡	徳富静子	昭和16年7月8日	封書1通	主人の病状報告
5-1	393	浮田和民宛書簡	徳富蘇峰	[昭和9年]9月18日	封書1通	漢詩の作者の件回答
5-1	394	浮田和民宛書簡	都倉義一	昭和7年10月15日	はがき1通	『満州国独立と国際連盟』拝受につき礼状
5-1	395	浮田和民宛書簡	留岡会幹事	昭和14年2月20日	はがき1通	第4回留岡会案内
5-1	396	浮田和民宛書簡	友枝高彦	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	397	浮田和民宛書簡	中川末吉	昭和10年5月9日	はがき1通	ニューヘブン(アメリカ)から挨拶状
5-1	398	浮田和民宛書簡	中桐確太郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	399	浮田和民宛書簡	中島徳蔵	昭和12年1月	はがき1通	年賀状

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	400	浮田和民宛書簡	中島與三郎	昭和7年10月15日	封書1通	『満州国独立と国際連盟』拝受につき礼状
5-1	401	浮田和民宛書簡	中島與三郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	402	浮田和民宛書簡	中島與三郎	昭和15年4月21日	封書1通	過日訪問の礼状
5-1	403	浮田和民宛書簡	中島與三郎	昭和17年11月8日	封書1通	過日訪問の礼状
5-1	404	浮田和民宛書簡	中瀬古六郎	昭和13年4月26日	封書1通	拙稿掲載の『舎密』『tempo』在中
5-1	405	浮田和民宛書簡	中瀬古六郎	昭和14年3月23日	はがき1通	「大日本」拝受につき礼状
5-1	406	浮田和民宛書簡	中野正剛	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	407	浮田和民宛書簡	中野禮四郎	昭和7年10月12日	封書1通	早稲田名誉社員として推薦の件協議
5-1	408	浮田和民宛書簡	中野禮四郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	409	浮田和民宛書簡	永原栄一	昭和8年4月24日	封書1通	貴著梗概をクロニクル紙に訳出に対し謝辞をいただき恐縮
5-1	410	浮田和民宛書簡	永原栄一	昭和9年7月6日	封書1通	『満州問題と日米親善論』拝受につき礼状
5-1	411	浮田和民宛書簡	中村吉蔵	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	412	浮田和民宛書簡	中村房太郎	昭和21年4月22日	封書1通	五女姉上ご逝去につき悔み
5-1	413	浮田和民宛書簡	成瀬隆蔵	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	414	浮田和民宛書簡	南波憲厚	年月日不明	はがき1通 (軍事郵便)	近日中に所属部隊変わる
5-1	415	浮田和民宛書簡	難波理一郎	昭和11年12月	はがき1通	喪中欠礼
5-1	416	浮田和民宛書簡	西秋書店	昭和21年10月1日	はがき1通	蔵書買取の案内
5-1	417	浮田和民宛書簡	西澤義雄	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	418	浮田和民宛書簡	西澤義雄	昭和16年7月9日	はがき1通	父初盆のお灯笼礼状
5-1	419	浮田和民宛書簡	西村真次	昭和14年4月1日	はがき1通	来年度の学科及び教場の件一報
5-1	420	浮田和民宛書簡	西村八次郎	大正5年6月2日 大正5年7月16日	封書2通	揮毫の軸物の依頼及び礼
5-1	421	浮田和民宛書簡	日清生命保険株式会社	昭和8年3月	封書1通	記念配当金の通知
5-1	422	浮田和民宛書簡	ニッポンとアメリカ社編集部	昭和14年2月25日	はがき1通	寄稿依頼

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	423	浮田和民宛書簡	二瓶要蔵	昭和17年12月17日	はがき1通	雑誌『宗教』講読継続お願い
5-1	424	浮田和民宛書簡	日本組合基督教会	昭和14年5月	はがき1通	経常寄付金のお願い
5-1	425	浮田和民宛書簡	納三治	昭和15年4月10日	はがき1通	20日の会合参上する旨一報
5-1	426	浮田和民宛書簡	納三治	[昭和15]年4月20日	封書1通	本日のご招待にたいし礼状
5-1	427	浮田和民宛書簡	納三治	昭和17年12月2日	封書1通	折本にご下命の詩について伺い
5-1	428	浮田和民宛書簡	納三治	年不明3月23日	封書1通	「大日本」拝受につき礼状
5-1	429	浮田和民宛書簡	信木空三郎	昭和10年5月6日	封書1通	謝恩会ご来光につき礼状
5-1	430	浮田和民宛書簡	野々村戒三	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	431	浮田和民宛書簡	野間五造	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	432	浮田和民宛書簡	野村基作	昭和17年1月	はがき1通	寒中見舞い
5-1	433	浮田和民宛書簡	橋本萬右衛門	昭和14年2月26日	封書1通	揮毫の御願い
5-1	434	浮田和民宛書簡	橋本萬右衛門	昭和14年3月7日	封書1通	揮毫礼状
5-1	435	浮田和民宛書簡	橋本萬右衛門	昭和16年7月23日	はがき1通	暑中見舞い
5-1	436	浮田和民宛書簡	波多野政雄	昭和20年11月7日	はがき1通	父培根逝去の知らせ
5-1	437	浮田和民宛書簡	服部文四郎	昭和16年11月8日	封書1通	御上京の機会あらばお目にかかりたく都合伺い
5-1	438	浮田和民宛書簡	服部文四郎	昭和16年11月16日	封書1通	待ち合わせ場所一報
5-1	439	浮田和民宛書簡	濱田久米夫	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	440	浮田和民宛書簡	原俊一	昭和2年5月24日	封書1通	ウガンダの赴任先から近況
5-1	441	浮田和民宛書簡	原田鋼	年不明4月20日	封書1通	レポートに対するご教示に対し礼状
5-1	442	浮田和民宛書簡	原田梁二郎	大正10年1月	封書1通	年賀状
5-1	443	浮田和民宛書簡	原躬	昭和14年8月24日	はがき1通	大阪田中園太郎死去の一報
5-1	444	浮田和民宛書簡	原安三郎	昭和8年5月29日	はがき1通	大連より絵葉書
5-1	445	浮田和民宛書簡	原安三郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	446	浮田和民宛書簡	秀彦	大正3年6月22日	はがき1通	バンクーバーで同志社以来叔父上を知る人に遭遇
5-1	447	浮田和民宛書簡	平瀬俊二	年不明1月29日	封書1通	書幅用の書同封
5-1	448	浮田和民宛書簡	平沼淑郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	449	浮田和民宛書簡	廣津友信	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	450	浮田和民宛書簡	深井英五	昭和8年11月28日	封書1通	講演依頼の断り状
5-1	451	浮田和民宛書簡	深井英五	昭和9年8月16日	封書1通	『満州問題と日米親善論』拝受につき礼状
5-1	452	浮田和民宛書簡	深井英五	昭和16年12月28日	封書1通	拙著に対する御懇辞礼状
5-1	453	浮田和民宛書簡	藤井新一	大正5年5月25日	封書1通	フランクリン氏のニューヨーク事務所住所一報
5-1	454	浮田和民宛書簡	藤井新一	大正10年2月17日	封書1通	帰朝後の就職先紹介依頼
5-1	455	浮田和民宛書簡	藤沢久	昭和15年4月25日	はがき1通	餞別礼状
5-1	456	浮田和民宛書簡	不破ユウ	昭和5年10月10日	はがき1通	お申越しの故人の写真送付
5-1	457	浮田和民宛書簡	堀貞一	昭和7年10月13日	封書1通	近著拝受につき礼状
5-1	458	浮田和民宛書簡	堀貞一	昭和7年10月18日	はがき1通	御著「満州独立」拝受、吉田文庫の資金集まる
5-1	459	浮田和民宛書簡	堀貞一	昭和14年3月22日	はがき1通	「大日本」拝受につき礼状、同志社昨日第61回卒業式挙行
5-1	460	浮田和民宛書簡	前田多蔵	昭和16年12月18日	封書1通	妻死去の際の御悔状礼状
5-1	461	浮田和民宛書簡	牧野信	昭和7年2月	封書1通	漢詩一首贈呈
5-1	462	浮田和民宛書簡	牧野虎次 (家庭学校校長)	昭和10年5月25日	封書1通	明徳園へ校舎移転につき通知
5-1	463	浮田和民宛書簡	牧野虎次 (家庭学校校長)	昭和10年6月2日	封書1通	ジェローム・デビス教授東京での日程など一報 同志社での連続講演のパンフ同封
5-1	464	浮田和民宛書簡	牧野虎次(同志社総長事務取扱)	昭和15年4月30日	封書1通	前橋の半田善四郎宅で新島先生記念碑用の石材見聞
5-1	465	浮田和民宛書簡	牧野虎次	昭和16年5月26日	封書1通	一昨日の定期総理事会で総長に推挙される
5-1	466	浮田和民宛書簡	牧野虎次 (同志社総長)	昭和17年10月13日	封書1通	故村井貞之介氏伝記を準備中につき、追想文お願い
5-1	467	浮田和民宛書簡	牧野虎次 (同志社総長)	昭和17年10月21日	封書1通	故村井貞之助氏伝記追悼文のお願い
5-1	468	浮田和民宛書簡	牧野虎次	昭和18年1月7日	封書1通	新島先生書簡集は大宮御所始め高松宮らに献上

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	469	浮田和民宛書簡	牧野虎次	[昭和18年]2月3日	封書1通	ご蔵書同志社へ寄託の件
5-1	470	浮田和民宛書簡	増田義一	昭和17年7月24日	封書1通	亡次男への御弔詞拝受につき礼状
5-1	471	浮田和民宛書簡	松原大八	昭和16年12月26日	封書1通	ご推薦のイング博士直言集に大いに啓発される
5-1	472	浮田和民宛書簡	松原大八	昭和17年1月18日	封書1通	現代宗教家の通幣に対する忌憚なきご批評に反省
5-1	473	浮田宛書簡	松本恒吉	年月日不明	封筒のみ	
5-1	474	浮田和民宛書簡	松本又彦	昭和7年12月30日	はがき1通	墓守心付け拝受
5-1	475	浮田和民宛書簡	松山常次郎 徳富猪一郎	昭和16年11月吉日	封書1通	猪一郎孫の結婚式招待状
5-1	476	浮田和民宛書簡	丸善(株)	大正11年9月	封書1通	書籍代請求書
5-1	477	浮田和民宛書簡	美濃部達吉	昭和10年12月12日	封書1通	司法処分決定に際しご懇篤なる同情の手紙感謝
5-1	478	浮田和民宛書簡	宮川経輝	昭和5年10月20日	封書1通	旧友の会合欠席につき諸氏へ宜しくご伝言を
5-1	479	浮田和民宛書簡	宮川経輝	昭和5年11月29日	はがき1通	同級生一同の写真拝受につき礼状
5-1	480	浮田和民宛書簡	宮川経輝	昭和7年2月19日	封書1通	経次の子永眠の際の御弔詞拝受につき礼状
5-1	481	浮田和民宛書簡	三宅驥一	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	482	浮田和民宛書簡	宮崎小八郎	昭和元年12月28日	封書1通	牛島氏伝記執筆につき指導請う
5-1	483	浮田和民宛書簡	宮島綱男	昭和6年4月23日	はがき1通	復渡政につき挨拶状
5-1	484	浮田和民宛書簡	宮田修	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	485	浮田和民宛書簡	村井貞之助	大正10年7月1日	封書1通	ラッド先生の書面返送
5-1	486	浮田和民宛書簡	村井貞之助	昭和16年11月	はがき1通	転居通知
5-1	487	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和13年12月5日	はがき1通	来る10日小生宅にて金森氏と三人で会合いたしたく御光来お願い
5-1	488	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和13年12月20日	はがき1通	金森翁の宿所一報
5-1	489	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年2月9日	はがき1通	拙文掲載のウイークリータイムス送付
5-1	490	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年2月16日	封書1通	金森通倫の手紙同封(25日の来訪お待ちする旨)
5-1	491	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年2月28日	はがき1通	論文拝受につき礼状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	492	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年3月31日	はがき1通	関西への旅行早々に切り上げ帰宅
5-1	493	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年4月11日	はがき1通	風邪をひき金森翁の見舞いうける
5-1	494	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年5月1日	はがき1通	小生の感想文の英訳小冊子を送付
5-1	495	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年5月22日	封書1通	小崎夫人の訃報をきいて
5-1	496	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年5月28日	封書1通	揮毫の依頼、金森翁宅訪問の件
5-1	497	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年6月5日	封書1通	金森翁からの手紙(三老会の件)同封
5-1	498	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年9月6日	封書1通	来る19日に三老会を開催いたしたく都合伺い
5-1	499	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和14年9月14日	はがき1通	来る19日は麻生君も参加、同じ電車でお出でくださるよう
5-1	500	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和15年2月9日	封書1通	雑誌『道』松村氏追慕号中の一文について
5-1	501	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和15年3月17日	封書1通	私の信仰に関する一文同封
5-1	502	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和15年3月23日	封書1通	徳富、安部、麻生らと五老会催の件金森翁へ伝達
5-1	503	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和15年4月4日	封書1通	安部氏へも招待状送るが未だ返事なし
5-1	504	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和15年4月18日	はがき1通	15人の旧友会での写真撮影を提案
5-1	505	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年2月13日	封書1通	今月限りで早稲田大学引退お名残惜しい事と存ず
5-1	506	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年3月24日	封書1通	4月からは閑散の身となられ喜ばしき限り
5-1	507	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年4月14日	封書1通	最近創作の和歌、英詩別封にて送付
5-1	508	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年4月23日	封書1通	故下村翁の記念帳その内拝見に参上
5-1	509	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年5月21日	封書1通	金森翁は家族らと熊本へ出発、帰途京都で新島先生の墓参り来月始めにお帰りの予定
5-1	510	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年5月25日	封書1通	次男病気で辞職、小著『肝』は評判よく注文殺到
5-1	511	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年6月15日	封書1通	金森翁来21日都市放送で「老人の心境」を放送ご聴聞を
5-1	512	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年6月19日	封書1通	峯山会に安部磯雄君も参加を希望
5-1	513	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年7月30日	封書1通	先日の出水で床下浸水し閉口
5-1	514	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年9月17日	封書1通	満州で訓練に励む長男に葉書でもやっていたければ幸い

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	515	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年9月24日	はがき1通	長男から元気で毎日猛演習するとの通信あり
5-1	516	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年10月4日	封書1通	長男への慰問状に感謝、今は基督者という心持全然なく葬式も神式でよいと思う心境
5-1	517	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年11月9日	封書1通	神戸に行った序に郷里松山で墓参、その後京都にも立ち寄り無事帰宅
5-1	518	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年11月21日	封書1通	孫娘の結婚の報告
5-1	519	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和16年12月21日	封書1通	金森翁からの手紙の内容(今回の戦争について)
5-1	520	浮田和民宛書簡	村井知至	[昭和17]年1月6日	封書1通 (封筒なし)	出征中の長男勇吾への慰問状思し召しに感涙、ご令嬢の怪我見舞い
5-1	521	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年2月9日	はがき1通	ご惠贈の冊子勇吾に発送する
5-1	522	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年2月9日	封書1通	文明協会雑誌他拝受につき礼状
5-1	523	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年3月6日	封書1通	先日のお手紙に勇吾非常に感謝す
5-1	524	浮田和民宛書簡	村井知至	[昭和17年]4月28日	封書1通	克躬君の自画像見事な出来、蛙人自画像と句同封
5-1	525	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年5月6日	封書1通	ご家族の病氣見舞い、石神井の金森翁宅を訪問
5-1	526	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和[17]年5月13日	封書1通	蘇峰翁の都合つけば石神井で老友会が出来れば誠に結構
5-1	527	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和[17]年6月7日	封書1通	来る10日より関西行き、途中名古屋で同志社旧友と再会の予定
5-1	528	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和[17]年6月19日	封書1通	名古屋での旧友達との再会の様子など一報
5-1	529	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年6月27日	封書1通	金森翁宅での徳富翁らとの旧友会開催の件
5-1	530	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年8月12日	封書1通	金森翁独居の生活を営み楽しんでおられる様子
5-1	531	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年9月21日	封書1通	次男東吾の病氣療養法についての芳書拝受につき礼状
5-1	532	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和17年11月30日	封書1通	旅行の報告、水の効用について起稿御願ひ
5-1	533	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年1月7日	封書1通	新年挨拶
5-1	534	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年1月14日	封書1通	金森氏からの米寿記念の文集出版の断り状同封
5-1	535	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年1月16日	封書1通	「健康養生法実験記」なる玉稿拝受
5-1	536	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年1月24日	封書1通	「刹那」に関する私見、金森翁の伝記及文集出版の件ほか
5-1	537	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年1月30日	封書1通	私の不眠症の治療法についてのご意見ご教示に感謝

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	538	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年3月12日	封書1通	小生例の不眠症も克服し頗る健康
5-1	539	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和[18]年4月29日	封書1通	近況報告、英文の揮毫同封
5-1	540	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年5月6日	封書1通	金森氏伝記編纂の件
5-1	541	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年5月23日	封筒のみ	
5-1	542	浮田和民宛書簡	村井知至	昭和18年6月17日	封書1通	自身の近況、金森翁の近況など
5-1	543	浮田和民宛書簡	村井知至	年不明12月22日	封書1通	金森氏の近況一報
5-1	544	浮田和民宛書簡	村上直次郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	545	浮田和民宛書簡	村崎凡人	年月日不明	はがき1通 (軍事郵便)	歌二首
5-1	546	浮田和民宛書簡	村田勤	昭和12年1月1日	はがき1通	年始挨拶及び近況
5-1	547	浮田和民宛書簡	村田勤	昭和14年10月8日	封書1通	金額と人名一報(何かの募金?)
5-1	548	浮田和民宛書簡	村田勤	昭和16年10月28日	はがき1通	梨を送るところ品払底につき柿を送付
5-1	549	浮田和民宛書簡	村田勤	昭和16年11月2日	はがき1通	柿送付の件、今夕から伊勢へ出立
5-1	550	浮田和民宛書簡	村田勤	昭和16年11月9日	封書1通	参宮をかねた郷里松坂への旅の報告
5-1	551	浮田和民、秀樹宛書簡	村田勤	年不明7月13日	はがき1通	酷暑見舞い
5-1	552	浮田和民宛書簡	森盛一郎	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	553	浮田和民宛書簡	守田憲道	昭和14年7月	はがき1通	お盆の香華料拝受につき一報
5-1	554	浮田和民宛書簡	安田清雄	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	555	浮田和民宛書簡	安田清雄	昭和14年2月23日	はがき1通	転居通知
5-1	556	浮田和民宛書簡	山崎亨	昭和7年10月10日	封書1通	ご依頼の神学科研究室の本送付
5-1	557	浮田和民宛書簡	山崎直三	年不明10月7日	はがき1通	上海より絵葉書
5-1	558	浮田和民宛書簡	山崎勉治	昭和7年10月1日	封書1通	『日本消費組合運動史』刊行の件報告
5-1	559	浮田和民宛書簡	山崎勉治	昭和9年8月2日	封書1通	岡本利吉氏のことは拙著『日本消費組合運動史』で詳述
5-1	560	浮田和民宛書簡	山崎勉治	昭和9年9月8日	封書1通	産業組合中央会の囑託に就任につき一報

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	561	浮田和民宛書簡	山崎勉治	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	562	浮田和民宛書簡	山崎勉治	昭和14年4月11日	封書1通	上海維新学院教師に就任につき一報
5-1	563	浮田和民宛書簡	山崎勉治	昭和14年5月	はがき1通	維新学院教授就任挨拶状
5-1	564	浮田和民宛書簡	山下泰二	昭和14年4月	はがき1通	卒業及び就職報告
5-1	565	浮田和民、逸子宛書簡	山田亀喜	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	566	浮田和民宛書簡	山本寅彦	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	567	浮田和民宛書簡	山本徳尚	大正12年10月18日	封書1通	震災によるご負傷お見舞い
5-1	568	浮田和民宛書簡	山本邦助	昭和10年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	569	浮田和民宛書簡	山室軍平	昭和12年1月1日	はがき1通	新年挨拶
5-1	570	浮田和民宛書簡	湯浅三郎	昭和7年7月14日	封書1通	亡父への追悼文印刷つき校正お願い
5-1	571	浮田和民宛書簡	横矢重道	年不明3月11日	封書1通	無事ご帰朝お祝い
5-1	572	浮田和民宛書簡	吉浦章	昭和15年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	573	浮田和民宛書簡	吉浦季之	昭和8年10月16日	封書1通	荆妻への御弔詞拝受に付礼状
5-1	574	浮田和民宛書簡	吉田恵以子	昭和9年1月14日	封書1通	息子進路の件相談
5-1	575	浮田和民宛書簡	吉田恵以子	昭和9年3月8日	封書1通	息子学業の件相談
5-1	576	浮田和民宛書簡	吉田恵以子	昭和9年3月27日	封書1通	進級の件礼状
5-1	577	浮田和民宛書簡	吉田清太郎	昭和12年6月25日	封書1通	濃尾の震災の節『太陽』に発表されたご意見について
5-1	578	浮田和民宛書簡	吉田保民	昭和14年1月2日	はがき1通	年賀状
5-1	579	浮田和民宛書簡	T.Yoshimura	昭和4年12月23日	封書1通	クリスマスカード
5-1	580	浮田和民宛書簡	余田浩	昭和9年11月25日	封書1通	余田司馬人葬儀ご会葬礼状
5-1	581	浮田和民宛書簡	留学生友遇会 代表小崎道雄	昭和17年12月	封書1通	維持費贊助のお願い
5-1	582	浮田和民宛書簡	劉忠植	昭和15年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	583	浮田和民宛書簡	若松兎三郎	昭和14年3月20日	封書1通	「文明協会ニュース」及び英文「大日本」 拝受につき礼状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	584	浮田和民宛書簡	若松兎三郎	昭和14年4月24日	封書1通	新島先生永逝後50年の記念追懐録に協力依頼
5-1	585	浮田和民宛書簡	若松兎三郎	昭和14年5月5日	封書1通	拝受の「文明協会ニュース」今後は大学法学部に寄贈
5-1	586	浮田和民宛書簡	若松兎三郎	昭和14年9月23日	はがき1通	来る10月20日ご入洛の件拝承
5-1	587	浮田和民宛書簡	若松兎三郎	昭和15年4月9日	はがき1通	来る20日開催の先生方旧友会にご招命拝諾
5-1	588	浮田和民宛書簡	若松兎三郎	昭和15年4月21日	封書1通	御旧友の会合礼状
5-1	589	浮田和民宛書簡	若松兎三郎	年不明5月9日	封書1通 (封筒なし)	入洛日の日程伺い
5-1	590	浮田和民宛書簡	早稲田大学文学部	昭和14年6月13日	はがき1通	本学定金教授ご尊父逝去につき一報
5-1	591	浮田和民宛書簡	和田賢一	昭和21年6月13日	はがき1通	妻永眠の通知
5-1	592	浮田和民宛書簡	渡邊嵩	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-1	593	浮田和民宛書簡	渡辺金三	昭和7年10月17日	封書1通	『満州国独立と国際連盟』拝受につき礼及び卑見
5-1	594	浮田和民宛書簡	渡邊藤十郎	昭和10年12月	はがき1通	喪中はがき
5-1	595	浮田和民宛書簡	和田光徳	昭和9年3月28日	封書1通	昭和6年の支那旅行の旅程、発病の時期一報
5-1	596	浮田和民宛書簡	[不明]	昭和10年9月21日	はがき1通	裏面白紙
5-1	597	浮田和民宛書簡	Ada.T.N.	19--	封書1通	Happy Christmas & a New Year
5-1	598	浮田和民宛書簡	Agnes M. Brame	1925.11.22	封書1通	姉の死一報
5-1	599	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1921.2.22	封書1通	ロンドンから無事帰国されたか
5-1	600	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1921.4.8	封書1通	ロンドンでは炭鉱ストライキの真っ只中
5-1	601	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1921.5.19	封書1通	誕生日プレゼントの礼状
5-1	602	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1921.7.14	封書1通	こちらは干ばつに苦しむ
5-1	603	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1921.8.18	封書1通	時々ロンドンの新聞送付する旨
5-1	604	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1921.12.6	封書1通	クリスマスカード同封
5-1	605	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1922.1.19	封書1通	クリスマスプレゼントのカレンダー拝受
5-1	606	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1922.3.24	封書1通	誕生日祝いの礼状

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	607	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1922.5.21	封書1通	ニューヨークの妹の住所
5-1	608	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1922.8.16	封書1通	ドイツでの休暇のこと
5-1	609	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1922.10.14	封書1通	27日からニューヨークへ行く旨
5-1	610	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1922.12.17	封書1通	New Yearカード在中、ニューヨークでのこと
5-1	611	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1923.4.30	封書1通	イギリスへ帰国
5-1	612	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1923.8.31	封書1通	ボンベイから
5-1	613	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1924.4.14	封書1通	お望みの本があれば送付する旨
5-1	614	浮田和民宛書簡	B.M.B	1925.4.17	封書1通	誕生日レターの礼状
5-1	615	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1925.11.1	封書1通	新聞によると東京で地震、洪水が発生とあり安否伺い
5-1	616	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1926.4.6	封書1通	ご友人がイギリスにこられるなら歓迎する旨
5-1	617	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1927.5.16	封書1通	バースデーカードの礼、茅ヶ崎の新しい家はいかが
5-1	618	浮田和民宛書簡	B.M.Brennan	1928.3.10	封書1通	今冬は今までにない厳しい冬
5-1	619	浮田和民宛書簡	B.M.B	1928.4.22	封書1通	誕生日レターの礼状
5-1	620	浮田和民宛書簡	B.M.B	1928.11.22	封書1通 (封筒なし)	クリスマス祝福、カレンダー送付
5-1	621	浮田和民宛書簡	B.M.B	1929.4.30	封書1通	アメリカにいる姉妹からアメリカに住むようすすめられるが
5-1	622	浮田和民宛書簡	B.M.B	1930.1.21	封書1通	クリスマスプレゼントに“The Divine Lady”送付
5-1	623	浮田和民宛書簡	B.M.B	1930.5.18	封書1通	あなたの写真をみて当時のことをよく思い出している
5-1	624	浮田和民宛書簡	B.M.B	1931.8.3	封書1通	今夏の計画など
5-1	625	浮田和民宛書簡	B.M.B	1931.11.23	封書1通	満州問題解決することを信じている
5-1	626	浮田和民宛書簡	B.M.B	1932.10.4	封書1通	今年の休暇はKingsgateで過ごす
5-1	627	浮田和民宛書簡	B.M.B	1932.11.23	封書1通 (封筒なし)	満州問題の論文コピー拝受
5-1	628	浮田和民宛書簡	B.M.B	1933.10.16	封書1通	世界の混乱解決を望む
5-1	629	浮田和民宛書簡	B.M.B	1933.11.12	封書1通	日中戦争に対する所感ほか

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	630	浮田和民宛書簡	B.M.B	1933.3.6	封書1通	地震見舞い
5-1	631	浮田和民宛書簡	B.M.B	1934.7.27	封書1通	近況
5-1	632	浮田和民宛書簡	B.M.B	1935.2.22	封書1通	特別なこともなく毎日を過ごしている
5-1	633	浮田和民宛書簡	B.M.B	1935.3.3	封書1通	
5-1	634	浮田和民宛書簡	B.M.B	1936.11.17	封書1通	スペイン戦争についてどうお考えか
5-1	635	浮田和民宛書簡	B.M.B	1937.6.17	封書1通	パースデーカードの礼状
5-1	636	浮田和民宛書簡	B.M.B	19--.11.3	封書1通	故郷のアイランドでの休暇から帰宅
5-1	637	浮田和民宛書簡	Brentano's Inc.	1929.12.23	封書1通	書籍に関する問い合わせの返事
5-1	638	浮田和民宛書簡	E.J.Dillon	1933.6.2	封書1通	満州独立と国際連盟に関する浮田の省察について
5-1	639	浮田和民宛書簡	Jemie Johnson	1894.5.28	封書1通	横井を私たちの下宿に紹介していただき感謝
5-1	640	浮田和民宛書簡	John C. Berry	1918.5.6	封書1通	東京滞在中にお目にかかれず残念
5-1	641	浮田和民宛書簡	John C. Berry	1928.1.16	封書1通	パースデーカード
5-1	642	浮田和民宛書簡	John C. Berry	1933.5.29	封書1通	Mrs.Berryに対する悔やみの礼及び日本、満州、中国の状況に関するエッセイ拝受の礼
5-1	643	浮田和民宛書簡	John H. DeForest	1908.6.4	封書1通	法学博士取得のお祝い
5-1	644	浮田和民宛書簡	M.L.Clifford Browne	1921.12.10	封書1通 (封筒なし)	原敬暗殺の記事を読んで
5-1	645	浮田和民宛書簡	M.L.Clifford Browne	1921.8.29	封書1通	書籍送付の件
5-1	646	浮田和民宛書簡	M.L.Clifford Browne	1923.12.12	封書1通	来る年が良い年でありますように
5-1	647	浮田和民宛書簡	M.L.Clifford Browne	1924.11.26	封書1通	住所変更一報
5-1	648	浮田和民宛書簡	M.L.Clifford Browne	1925.11.15	封書1通	Bantockの本のコピー拝受、彼の詩についての感想
5-1	649	浮田和民宛書簡	Roberto Otiz	1913.1.26	はがき1通	New Yearカード拝受の礼状
5-1	650	浮田和民宛書簡	Sidney Webb	1912.12.20	封書1通	コラム執筆の依頼
5-1	651	浮田和民宛書簡	Truslove & Hanson	1929.1.25	封書1通	書籍代金の領収書同封
5-1	652	浮田和民宛書簡	Truslove & Hanson M.L.B	1927.9.28	封書1通	書籍の問い合わせに対する回答

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-1	653	浮田和民宛書簡	Wilbur L. Cross	1939.2.15	封書1通	エール大学卒業生へ同窓会から寄付の依頼
5-1	654	浮田和民宛書簡	Winifred M. Brennan	1934.1.29	封書1通	クリスマスカードの礼状
5-1	655	浮田和民宛書簡	The World's Art Service Paphael Tuck & Sons'	1927.11.16	封筒のみ	
5-1	656	浮田和民宛書簡		1922.12.17	封筒のみ	Weybridgeの消印あり
5-1	657	浮田和民宛書簡		1925.1.20	封書1通	The British Empire Exhibitionのカード
5-1	658	浮田和民宛書簡		1925.11.30	封筒のみ	Maidenheadの消印あり
5-1	659	浮田和民宛書簡		1926.3.10	封筒のみ	Maidenheadの消印あり
5-1	660	浮田和民宛書簡		1928.8.	封筒のみ	Londonの消印あり
5-1	661	浮田和民宛書簡		1930.1.28	封筒のみ	Parisの消印あり
5-1	662	浮田和民宛書簡		1932.2.3	封筒のみ	Londonの消印あり
5-1	663	浮田和民宛書簡		1933.11.21	封筒のみ	Maidenheadの消印あり
5-1	664	浮田和民宛書簡		1937.11.24	封筒のみ	Bournemouthの消印あり
5-1	665	浮田和民宛書簡		年月日不明	封筒のみ	Maidenheadの消印あり
5-1	666	浮田和民宛書簡		年月日不明	封筒のみ	Malayaの切手貼付

5-2	1	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年8月13日	はがき1通	今夜門司港より正義丸に乗込む予定
5-2	2	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年8月14日	封書1通	別れを惜しむ歌一首
5-2	3	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年8月16日	はがき1通	昨朝京都着、当地は明日か明後日出発予定
5-2	4	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年8月17日	封書1通	今朝京都出発、今晚静岡に着く
5-2	5	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年8月27日	封書1通	明後日午後四時横浜を出航の予定
5-2	6	浮田五女宛書簡	浮田和民	明治25年9月9日	封書1通	横浜港出発からバンクーバー港到着までの模様
5-2	7	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年9月19日	封書1通	去る16日Ann Arbor到着ゼンズ氏宅に今日まで滞在す
5-2	8	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年9月28日	封書1通	ニューヘブーン市に到着、下宿のこと等報告

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-2	9	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年10月13日	封書1通	エール大学周辺の手書き地図同封
5-2	10	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年10月24日	はがき1通	変わりなく勉学に励む故ご安心を
5-2	11	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年10月28日	封書1通	小生もなるべく日記のようにして手紙送る
5-2	12	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年10月29日	はがき1通	9月19日のお手紙郵便局の手違いで本日届く
5-2	13	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治[25]年11月17日	封書1通	ラーネッド氏も近く当地に参られる筈にてお金のことはご安心を
5-2	14	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治25年12月2日	封書1通	当地の気候にも漸くなれる故衣服の事などご安心を
5-2	15	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年12月15日	封書1通	来年1月から7月まで校長の斡旋により200ドルを支給されることになる故安心する
5-2	16	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年12月26日	封書1通	金のことは先便で申したとおり御心配なきよう
5-2	17	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年1月	封書1通	当地正月の様子など
5-2	18	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年1月16日	封書1通	当地の寒気の強きは熊本 of 暑熱の強さの如く、運動も十分に出来かねる
5-2	19	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年1月26日	封書1通	滞在期間のことなど
5-2	20	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年2月6日	封書1通	幸い病氣もせず課業の勉強と一人でドイツ、フランス語を勉強
5-2	21	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年2月15日	封書1通	西洋は面白き事一向になく本年だけで帰国したいが、同志社の為に出掛けたことにて補助のある間は滞在するを得ず
5-2	22	浮田五女宛書簡	浮田和民	明治26年2月24日	封書1通	当地も数年来の寒気ではあるが別状もなく過さず故御心配なく
5-2	23	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年3月3日	封書1通	日本の風呂は日本の極楽世界にて当地の風呂は憐れむべき有様
5-2	24	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年3月15日	封書1通	自らの心高くお持ちになるよう
5-2	25	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年3月26日	封書1通	松山高吉の書簡(同志社の近況)同封
5-2	26	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年4月17日	封書1通	近頃は益々肥満致す
5-2	27	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年4月24日	封書1通	小生の生計については京都出発時に中村、湯浅に送金を依頼する故心配なく
5-2	28	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年5月4日	封書1通	ラッド氏小崎、横井、海老名の2年間の留学資金準備、9月から友達も増え面白きこともあるかと期待す
5-2	29	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年5月15日	封書1通	試験も近づき、英語演説の準備始める
5-2	30	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年5月24日	封書1通	来年コロンビアに掛合申して出来ぬ場合は来年帰国する予定
5-2	31	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年6月4日	封書1通	子供の写真と筆拝受

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-2	32	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年6月24日	封書1通	今回の洋行年限について種々お申し越し くだされ有難く、小生も折角の洋行なれば 辛抱するつもりにてご安心を
5-2	33	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年7月4日	封書1通	この一年間は孝太郎兄の半分も勉強出 来てないが、随分疲れた故今夏中に英気 を養うつもり
5-2	34	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年7月13日	封書1通	海老名洋行の際に、たび三足依頼くださ れたくお願い
5-2	35	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年7月24日	封書1通	孝太郎兄今年の洋行見合わせは同志社 理化学校のためにはやむを得ず
5-2	36	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年8月2日	封書1通	子等に対し小児の時より品物大切にす ること肝心
5-2	37	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年8月14日	封書1通	休業中は皆からの手紙が楽しみ
5-2	38	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年8月22日	はがき1通	Leonards Bridgeに避暑にくる
5-2	39	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年9月3日	封書1通	留守中は会計御不自由かけるが御辛抱 のほど
5-2	40	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年9月13日	封書1通	御地痢病流行の模様、子供ら無事にて安 心す
5-2	41	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年9月21日	封書1通	小崎、横井先月出発、当地での面会の様 子次便にて報告
5-2	42	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年10月1日	封書1通	今年は勉強が十分にでき、来年帰国して も遺憾なし
5-2	43	浮田逸女宛書簡	浮田和民	明治26年10月11日	封書1通	小崎、ウーストルに到着今週面会の予定
5-2	44	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年10月23日	封書1通	今回は小崎着にて取り紛れ無事の報まで
5-2	45	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年11月	封書1通	日本暴風大洪水の報あり、熊本は左程の ことなく安心す
5-2	46	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年11月1日	封書1通	学位を得るには3年を要するが、あまり必 要にも思えず来年帰国する予定
5-2	47	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年11月6日	封書1通	日本の書生も人力引きて勉強する覚悟な く西洋人に勝る事できまじく、子供らも その積もりでお育てくだされたく
5-2	48	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年11月13日	封書1通	来年の夏帰る事に決心致す、当地も本年 は非常なる不景気
5-2	49	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年12月2日	封書1通	昨日より風邪にかかり本日まで引き込む
5-2	50	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治26年12月11日	封書1通	小生は洋食大嫌いにて味噌汁と米飯を 食すこと今より舌つづみす
5-2	51	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治27年1月2日	封書1通	本年は温かく誠に暮らしやすし
5-2	52	浮田逸女宛書簡	浮田和民	明治27年1月10日	封書1通	何れ教会も同志社も外国の助けを頼まず 独立して行かねばならぬと存ず
5-2	53	浮田逸女宛書簡	浮田和民	明治27年1月22日	封書1通	同志社社員の許可と旅費の都合出来れ ば夏になる迄に帰国いたしたく3月下旬か 4月上旬には当地出発
5-2	54	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治27年1月27日	はがき1通	お申し越しの眼鏡購入の件

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-2	55	浮田逸女宛書簡	浮田和民	明治27年1月30日	封書1通	同志社からの返事はないが、夏までには帰朝の予定
5-2	56	浮田いつめ宛書簡	浮田和民	明治27年2月10日	封書1通	4月2日出航の船にのり4月16日横浜着の予定
5-2	57	浮田逸女宛書簡	浮田和民	明治27年2月18日	封書1通	3月17日に当地出発ニューヨーク、ボストンをへて帰国予定
5-2	58	浮田逸女宛書簡	浮田和民	明治27年2月27日	封書1通	本月17日に当地出発ハリス氏に挨拶、ボストン等を見学し帰国の予定
5-2	59	浮田逸女宛書簡	浮田和民	明治27年3月12日	封書1通	当地は物価高く名物というものもなく土産には閉口
5-2	60	浮田[いつめ]宛書簡	浮田和民	大正9年11月22日	はがき1通	パリ到着市中見物
5-2	61	下村孝太郎宛書簡	浮田和民	昭和10年9月23日	はがき1通	南総里見八犬伝を再読して一首
5-2	62	D.W.Learned宛書簡	Thomas Kazutami Ukita	1940.7.10	封書1通 (封筒なし)	ラーネッド夫人死去の悔やみ
5-2	63	下村孝太郎宛書簡	浮田和民	年不明1月29日	封書1通 (封筒なし)	
5-2	64	横井時雄宛書簡	浮田和民	年不明6月9日	封書1通 (封筒なし)	今回の君が身上の大難に際し何らの労も尽くせず遺憾
5-2	65	広瀬清宛書簡	浮田	年月日不明	封筒のみ	

5-3	1	海老名弾正宛書簡	金森通倫	明治23年2月2日	封書1通	新島存命中、新島の補佐としての心中吐露
5-3	2	原安三郎宛書簡	濱治生	昭和4年9月16日	はがき1通	
5-3	3	金森通倫宛書簡	和田正脩	昭和5年12月29日	封筒のみ	
5-3	4	小崎弘道宛書簡	日本基督教連盟	昭和8年3月8日	封書1通	昭和8年版年鑑代金の請求
5-3	5	宛名なし書簡	浮田先生喜寿記念祝賀会発起人	昭和11年1月12日	はがき1通	
5-3	6	浮田いつ子宛書簡		昭和11年3月23日	はがき1通	
5-3	7	宛名なし書簡	吉田秀人	昭和12年1月1日	はがき1通	新年挨拶
5-3	8	宛名なし書簡	四方素	昭和12年1月1日	はがき1通	年賀状
5-3	9	宛名なし書簡	小林正直	昭和14年2月	はがき1通	長男結婚披露宴案内
5-3	10	宛名なし書簡	田中正治	昭和14年2月5日	はがき1通	宗愛死亡通知
5-3	11	宛名なし書簡	岡田千里	昭和14年2月14日	はがき1通	父死亡通知

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-3	12	宛名なし書簡	名取信策	昭和14年3月	はがき1通	弔慰御礼
5-3	13	宛名なし書簡	松川恒夫	昭和14年5月13日	はがき1通	父死亡通知
5-3	14	宛名なし書簡	坂本守正	昭和14年7月	はがき1通	暑中見舞い
5-3	15	浮田克躬宛書簡	本尾和夫	昭和14年8月5日	封書1通	
5-3	16	村田勤宛書簡	若松兎三郎	昭和14年10月6日	はがき1通	浮田先生への祝い金贈呈の件
5-3	17	宛名なし書簡	山崎勉治	昭和16年7月	はがき1通	産業組合中央会就任挨拶
5-3	18	宛名なし書簡	岸重郎	昭和16年7月18日	はがき1通	結婚報告
5-3	19	浮田克躬宛書簡	小林萬吾	昭和19年10月13日	はがき1通	
5-3	20	小崎道雄宛書簡	中島司(徳富秘書)	[昭和21年]5月3日	封書1通	浮田夫人ご逝去に付蘇峰よりの弔詞転送お願い
5-3	21	池田美代二宛書簡	原操	昭和44年1月8日	封書1通	
5-3	22	原安三郎宛書簡	西村朝日太郎	昭和53年12月4日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	23	原安三郎宛書簡	下山鎌吉	昭和53年12月5日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	24	原安三郎宛書簡	脇坂吉之助	昭和53年12月5日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	25	原安三郎宛書簡	十河佑貞	昭和53年12月5日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	26	原安三郎宛書簡	吉村正	昭和53年12月5日	封書1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	27	原安三郎宛書簡	村崎凡人	昭和53年12月6日	封書1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	28	原安三郎宛書簡	平竹伝三	昭和53年12月6日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	29	原安三郎宛書簡	国立国会図書館	昭和53年12月6日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	30	原安三郎宛書簡	松田治一郎	昭和53年12月8日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	31	原安三郎宛書簡	浮田颯二	昭和53年12月10日	はがき1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	32	原安三郎宛書簡	柴崎次郎	昭和53年12月12日	封書1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	33	原安三郎宛書簡	田中立治	昭和53年12月13日	封書1通	浮田和民論集惠贈御礼
5-3	34	原安三郎宛書簡	日本出版貿易(株)	昭和54年4月17日	はがき1通	米国議会図書館よりの浮田和民論集送付依頼の件

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
5-3	35	原安三郎宛書簡	米国議会図書館東京事務所	昭和54年4月23日	封書1通	浮田和民論集寄贈御礼
5-3	36	原安三郎宛書簡	無明堂文庫 松野董一	昭和54年4月8日	はがき1通	浮田和民論集寄贈依頼
5-3	37	原安三郎宛書簡	日本出版貿易(株)	昭和54年5月9日	はがき1通	トロント大学図書館よりの浮田和民論集送付依頼の件
5-3	38	池田美代二宛書簡	原操	昭和54年6月18日	封筒のみ	
5-3	39	浮田母上宛書簡	原操	年月不明28日	封筒のみ	
5-3	40	宛名なし書簡	大西祝	年月日不明	はがき1通	近影入りのはがき
5-3	41	Miss B.M.Brennan宛書簡		年月日不明	封筒のみ	
5-3	42	歸一協会宛書簡		年月日不明	はがき1通	返信用はがき

6	1	同志社英学校設立始末		明治17年5月	11p;19cm	
6	2	『国民の友』第118号、第174号		明治24年-明治25年	2冊;21cm	
6	3	種痘証(浮田操)		明治28年11月25日	1通;15x21cm	
6	4	国民教育論	浮田和民著 民友社発行	明治36年3月	1冊;15cm	1-16頁のみ
6	5	新約全書	大英国北英国 聖書会社	明治39年2月5日	770p;11cm	「故浮田直樹遺書」の印あり
6	6	領収書	東京信託株式会社ほか	明治41年-大正2年	40通;19cm	
6	7	The Times weekly editon		1909-1910	3冊;47cm	
6	8	国体に関する異説	上杉慎吉	明治45年5月	7枚;26cm	『太陽』第18巻第8号p69-80の電子複写
6	9	上杉博士の『国体に関する異説』を読む	美濃部達吉	明治45年7月	5枚;26cm	『太陽』第18巻第10号p97-105の電子複写
6	10	再び国体に関する異説に就て	上杉慎吉	明治45年8月	5枚;26cm	『太陽』第18巻第11号p69-76の電子複写
6	11	[チューリッヒの地図]	Kartogr Anstalt Hofer & Co.	1917	1枚;44x52cm	
6	12	診察券(浮田和民)	順天堂病院	大正6年10月	1通;12cm	
6	13	増田義一宛領収書	浮田	大正8年	1枚;25cm	浮田氏用箋、金額日付の記載なし
6	14	大正15年度分県税及町税領収書	茅ヶ崎町	昭和2年1月15日	1通;16cm	浮田友樹宛

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
6	15	運送貨物受取証	茅ヶ崎合同運送(株)	昭和3年5月28日	1通;13x18cm	浮田和民宛
6	16	不老長生(其理論及び実際)	中瀬古六郎	昭和5年11月	1冊;23cm	『我等の化学』第3巻第11号別刷
6	17	フィンランド風紀及花柳病関係法規	廓清会婦人矯風会廃娼聯盟	昭和5年3月1日	9p;19cm	
6	18	歸一協会例会(3月例会記録)		昭和5年3月28日	3枚;25cm	
6	19	歸一協会 趣旨、意見書、決議、宣言並規約、会員名簿並出版目録	歸一協会事務所	昭和6年1月改訂	28p;19cm	昭和6年1月改訂
6	20	The Fellowship of prayer	The Commission on Evangelism	1932	31p;16cm	
6	21	銀河の彼方—宇宙の膨張—	中瀬古六郎	昭和7年4月	1冊;23cm	『我等の化学』第5巻第4号別刷
6	22	『人道』第1巻第7号	家庭学校	昭和8年12月15日	8p;31cm	
6	23	『基督教世界』第53年第2号	基督教世界社	昭和9年1月11日	10p;31cm	
6	24	同志社校友同窓会報 第82号	同志社校友会	昭和9年1月15日	8p;31cm	
6	25	同志社校友同窓会報 第87号	同志社校友会	昭和9年6月15日	12p;31cm	
6	26	同志社校友同窓会報 第97号	同志社校友会	昭和10年5月15日	14p;31cm	創立60周年記念事業部新設の記事あり
6	27	同志社教報 第62号	同志社基督教会	昭和10年10月25日	4p;32cm	「最も感銘深かりし校祖の御言行」中に浮田の一文あり
6	28	『人道』第30号	家庭学校	昭和10年11月15日	8p;31cm	
6	29	燃料縦横談	下村孝太郎	昭和11年2月20日	1冊;25cm	『燃料協会誌』第161号p256-266抜き刷り
6	30	東京朝日新聞切抜き「議院制度改革同盟の態度決す」		昭和11年7月23日	1枚;10x15cm	
6	31	Address at the Dinner Commemorating the Dedication of the Statue of Liberty	Nicholas Murray Butler	1936.10.28	7p;22cm	
6	32	The American Spectator Vol.IV, No.48	The American Spectator Publishing Corp.	1937.4-5	15p;31cm	
6	33	目録	感謝会代表 牧野虎次、若松兎三郎	昭和14年8月8日	1通;25cm	金式千壹百参拾円贈呈の目録
6	34	独逸経済相フンク欧州経済新秩序公案、シャハト博士腹案		昭和15年7-9月	13枚;25cm	関連の新聞記事切り抜き
6	35	家長選挙制の是非 上・下	中村三之丞	昭和15年12月12-13日	2枚;24cm	新聞切抜き
6	36	肚	村井知至著 東邦書院発行	昭和16年4月15日	32p;15cm	
6	37	馬琴読本	宇野浩二	昭和17年6-7月	11枚;21cm	「中央公論」第57年6、7月号掲載

分類	資料No	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
6	38	学園の史壇と浮田先生	煙山専太郎	昭和18年9月	19p;21cm	浮田和民博士記念史学論文集別刷
6	39	同志社大学研究所の使命とその拡大の当然性	同志社大学 研究所長 田村徳治	昭和19年9月1日	18p;26cm	謄写版
6	40	同志社大学研究所研究会彙報		昭和19年10月-12月	19枚;26cm	謄写版
6	41	[浮田和民葬儀弔辞草稿]	[池田美代二]	[昭和21年10月]	2枚;26cm	原稿用紙に鉛筆書き
6	42	The New York Times Magazine	The New York Times Co.	1951.12.30	36p;33cm	
6	43	徳富蘇峰先生に浮田和民先生のことを聞く	池田美代二 筆記	昭和29年6月26日	14枚;25cm	原稿用紙にペン書き
6	44	浮田和民博士の国家論(一)~(七)	池田美代二	昭和43年-49年	7冊;26cm	早稲田大学教育学部学術研究第17~23号の抜刷
6	45	浮田和民先生のこと	中西敬二郎	昭和46年6月	p50-53;25cm	『新鐘』第17号掲載
6	46	浮田和民博士著述目録補遺	中西敬二郎	昭和53年	1冊;21cm	早稲田大学史紀要 第11巻抜刷
6	47	浮田和民博士について	池田美代二	[昭和54年]	9枚;25cm	原稿用紙にペン書き
6	48	史学科、そして西洋史—そのルーツを探ぐる—(早稲田大学文学部史XV)	小林正之	昭和61年12月20日	1枚;36cm	『文学部報』第16号8pの電子複写
6	49	梁启超早期史学思想与浮田和民的<史学通論>	蔣俊	1993.5	3枚;26x37cm	中国人民大学復印報刊資料
6	50	熊本洋学校在学時代の浮田先生	[池田美代二]	年月日不明	12枚;25cm	原稿用紙にペン書き
6	51	浮田和民博士の生年及び没年について		年月日不明	32枚;30cm	原稿用紙にペン書き
6	52	浮田和民博士著作目録	池田美代二	年月日不明	1冊;26cm	早稲田大学ノートにペン書き
6	53	浮田先生著作目録(其の二)	池田美代二	年月日不明	1冊;26cm	早稲田大学ノートにペン書き
6	54	浮田和民先生著作目録材料集め帳	池田美代二	年月日不明	1冊;26cm	早稲田大学ノートにペン書き
6	55	大正デモクラシー時代における日本の政治学	池田美代二	年月日不明	1冊;21cm	抜刷、第1章 浮田和民博士の政治学
6	56	日堂隠士なる人の“浮田和民”		年月日不明	7枚;25cm	原稿用紙にペン書き 『新時代』第2号(明治39年8月1日発行)の“青年欄”中の評論を書写したもの
6	57	[明治8、9年熊本洋学校卒業及明治12年同志社卒業者集合写真の氏名等のメモ]		年月日不明	2枚;16x24cm	
6	58	ポストカード(新島襄先生と遺墨)	同志社校友会	年月日不明	1枚;14cm	
6	59	新約全書 改訳		年月日不明	578p;18cm	「浮田秀二」の署名あり

分類	資料No.	タイトル	作成者	年月日	形態	備考
6	60	The Times war atlas and gazetteer : 40 coloured maps of the war areas : statistics relating to the belligerent countries : index of over 13,000 places in fighting areas	Times	[19--]	68p;30cm	地図
6	61	The Rubaiyat of Omar Khayyam		年月日不明	30p;16cm	表紙に浮田とあり
6	62	[香巖撃竹之偈に関するメモ]		年月日不明	3枚;16-23cm	
6	63	自然美についての研究		年月日不明	1枚;22cm	原稿用紙にペン書き
6	64	青雲の巻		[明治38年]	5丁;28cm	
6	65	「学徒出陣」絵葉書	鈴木満作	年月日不明	1枚;14cm	
6	66	"The Nature of the State" Chapter IX		年月日不明	26枚;21cm	p181-231の電子複写
6	67	学生レポート「支那事件の本質」		年月日不明	9枚;26cm	早稲田大学用箋
6	68	計算メモ		年月日不明	3枚;28cm	
6	69	詠草	下村孝太郎	年月日不明	5枚;14cm	

浮田和民関係資料目録

2017年3月10日発行

編集・発行 同志社大学人文科学研究所
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL : 075-251-3940
印刷所 (有) 木村桂文社
